

各流域の減災に係る取組方針に基づく状況報告について

令和元年 6月 6日

第5回 常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川等
大規模氾濫に関する減災対策協議会

減災のための取組項目 (概ね5年間)					北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		立山町		舟橋村				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期			
1. ハード対策の主な取組																			
■洪水を河川内で安全に流す対策																			
		・侵食・洗掘対策 ・浸透対策 ・パイピング対策	U,T,V	・洪水を安全に流すためのハード対策の推進	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施													
					常願寺川:1.2km実施済	引き続き実施													
					防災拠点等整備の検討	・防災拠点等の整備を検討する。	引き続き実施												
						検討中	引き続き実施												
■危機管理型ハード対策																			
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V	・越水が発生した場合の危機管理型ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	引き続き実施													
					常願寺川:5.5km実施済	引き続き実施													
■周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O,P	・水防資材の確認・整備		・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	引き続き実施	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・水防倉庫の備蓄材などを水防パトロールにて確認する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討			
					引き続き実施	引き続き実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H30.6.6】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.5.23】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【H30.5.24】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】富山土木管内合同巡視時に実施	引き続き実施	・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 ・【H30.6.6】常願寺川・神通川合同巡視時に確認	引き続き実施	常願寺川右岸水防市町村組合定例会において同組合所有資材内容報告	引き続き実施	情報収集中	引き続き実施			
					H28年度から検討	引き続き実施	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	引き続き実施	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	・新技術を活用した資機材の配備	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討	・情報を収集し、必要性を検討する。	H28年度から検討			
		・新技術を活用した資機材等の整備		検討中	引き続き実施	引き続き実施	【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.5.23】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【H30.5.24】立山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】富山土木管内合同巡視時に実施	引き続き実施			ウォーターフェンスなど調査研究	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	情報収集中	引き続き実施			

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		立山町		舟橋村	
②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L,J	・簡易水位計、CCTVカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・河川監視カメラの設置 (水位計設置箇所)	H28年度から順次整備				・河川沿川における同報系防災行政無線の整備を検討する。	引き続き実施		
			【H28.10】常願寺川左岸8.4k、右岸9.7k簡易水位計設置 【H28.12】常願寺川左岸8.8kCCTV設置 【H31.1】危機管理型水位計6箇所設置	引き続き実施	【H29.11】河川監視カメラ1台設置 【H31.1】危機管理型簡易水位計設置	引き続き実施				検討中	引き続き実施		

2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

①常願寺川の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布	A	・副教材の作成・配布	・常願寺川の洪水の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布	順次実施	・常願寺川の洪水の歴史・洪水特性の周知、促進理解のための副教材の作成・配布に協力する。	順次実施			・国が作成された副教材の配布に協力し、住民への周知に努める。	順次実施	・配布に協力する。	順次実施	・配布に協力する。	順次実施
			・検討中	引き続き実施	・検討中	引き続き実施			作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	順次実施	H19作成の浸水ハザードマップの内容を一部修正し再度配布(H28.7) R1年洪水ハザードマップ更新後、配布予定	順次実施	今年度実施	R1年度
②小中学校等における水災害教育を実施	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施する。	引き続き実施	・水辺の楽校等川と触れ合う機会に水害教育等の実施を考えていく。	引き続き実施	・教育委員会、PTAとの協議の実施	引き続き実施
			【H28.12.9】富山工業高校生に出前講座を実施 【H30.9.21】支援校の富山市立新庄小学校で出前講座による防災教育を支援	引き続き実施	説明会の実施 ・栃津川 【H28.6.21】立山北部小学校1年生ほか ・白岩川ダム 【H28.9.30】富山市立上条小学校4年生 【H28.10.7】上市町立相ノ木小学校4年生	引き続き実施	【H28.6.8】富山県教育会にて出前講座(気象全般)を実施 【H30】出前講座や見学会で小中学校への水防災の啓発を実施	引き続き実施	【H30.10.22】新庄北小学校5年生に出前講座を実施	引き続き実施	参加 国交省実施予定の防災教育に協力する	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施
③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・町内会や自主防災組織から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。	引き続き実施	・防災に関する出前講座の依頼がある場合、防災アドバイザーと協力してハザードマップ等について説明する。	引き続き実施	・広報、HP等	引き続き実施
			【H28.9.25】町村自治会にて出前講座を実施 【H29.6.2】常願寺川右岸水防市町村組合議会議員研修にて講座を実施 【H29.9.23】常願寺川に関する防災シンポジウムで講演を実施 【H30.6.28】常願寺川右岸水防市町村組合議会議員研修にて講座を実施 【H30.10.28】富山市新金代自主防災会にて講座を実施	引き続き実施	説明会の実施 ・栃津川 【H28.11.6】栃津川を愛する会(災害について) ・白岩川ダム 【H28.8.25】立山町谷口地区町内会	引き続き実施	【H29.9】気象台で水防法改正や新しい気象情報についての勉強会を実施 【H29.9.25】立山町で自主防災組織を対象とした出前講座を実施 【H30】出前講座や見学会で水防災の啓発を実施	引き続き実施	出前講座の実施(60回)	引き続き実施	要請があれば実施	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	立山町	舟橋村						
④効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	引き続き実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	順次実施	・広報、HP等	順次実施
			H29.6プッシュ型配信開始チラシの作成及び配布依頼	引き続き実施	・検討中	引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	順次実施	チラシの配布協力	順次実施	継続して実施	引き続き実施
⑤自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所等の共同点検の実施	A	・重要水防箇所等の共同点検	・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討			・国、県と共同点検に毎年参加	毎年実施	・河川管理者が実施する重要水防箇所等の共同点検に参画する。	順次毎年実施	・自治会との共同点検の実施を検討	順次毎年実施
			【H28.6.8】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H30.6.6】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【H30.6.6】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	引き続き実施		【H30.6.6】常願寺川・神通川の合同巡視で共同点検を実施	毎年実施	共同点検に参加	順次毎年実施	継続して実施	引き続き実施	
⑥まるごとまちごとハザードマップを整備	D,F I	・まるごとまちごとハザードマップへの情報提供	・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	H28年度から順次実施			・ハザードマップ見直しの際に実施の必要性について検討する。	必要があれば検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・まるごとまちごとハザードマップの整備を検討 ・ハザードマップの更新の際に検討	順次実施
			・検討中	引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表【H31.3.29】白岩川、大岩川、栃津川、上市川	引き続き実施		ハザードマップ作成後、必要があれば設置を検討	必要があれば検討	未実施 今後検討	必要があれば検討	今後検討	必要があれば検討	
⑦住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K	・自助・共助の促進のための普及啓発。自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援			・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座の実施 ・自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金の交付 ・自主防災組織構成員が防災士の資格を取得するための補助金の交付	引き続き実施	・自主防災組織への訓練補助金や資機材補助金の交付	順次実施	・広報、HP等	順次実施
					【H28年度】自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施	【H28.8】富山県総合防災訓練会場となった富山市、立山町に対し、訓練等への支援実施 継続して実施	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座を実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付を実施 ・防災士資格取得のための補助金交付を実施 ・防災士による防災講座の実施(富山県防災士会との協働) ・地域の防災リーダー育成研修を実施(富山県防災士会との協働)	引き続き実施	実施	順次実施	継続して実施	引き続き実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	立山町	舟橋村							
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組														
■情報伝達、避難計画等に関する事項														
①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	G,H I,J	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施 ②また、アラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供 ・河川情報システムの改良携帯端末向けのシステムの実施 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き検討	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	順次整備	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。	順次整備	・緊急速報エリアメールによる情報発信 富山県総合防災情報システムの一括情報配信にて、住民に災害情報を伝達 ・Twitterによる情報発信 ・町HPによる緊急災害情報の発信	順次整備	・防災無線の活用	順次整備
			【H28.3】スマートフォン向け機能を追加し、運用開始 【H29.5.1】プッシュ型による緊急速報メールの配信開始	引き続き実施	【H28.8.1】新たな富山県総合防災システムの運用開始。 【H30.2.15】河川情報システムの更新 【H31.5.3予定】危機管理型水位計の水位情報提供開始	引き続き実施	【H29.3】「はん濫」→「氾濫」へ情報文、電文の変更を実施した。 ・大雨が予想された場合、関係機関に情報伝達を実施	H29完了 引き続き実施	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備を進めている。 ・SNSやスマートフォンアプリについて広報、HPおよび出前講座での普及を推進	引き続き実施	大雨時に情報発信 町避難訓練時に情報発信 ケーブルテレビにおいてテロップを流す。	順次整備	継続して実施	引き続き実施
②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	順次実施	・タイムラインの検証	引き続き実施	・避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善	順次実施	・避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善	順次実施
			【H29.6】タイムライン作成済。今後、出水後の検証及び改善を実施	引き続き実施	・検討中	引き続き実施	・関係機関の勉強会 ・大雨災害時の市町村の対応等の聞き取り調査を実施	引き続き実施	検討中	引き続き実施	継続して検証	順次実施	継続して実施	引き続き実施
③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	D,E F	・洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表	・常願寺川の洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表	H28年度から実施										
			【H28.6.20】洪水浸水想定区域図の策定・公表済 家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供済。 【H30.6】想定最大規模による氾濫シミュレーションを公表(浸水ナビ) 【H31.3.18】洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)の修正・公表	実施済										

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整	富山県	富山地方气象台	富山市	立山町	舟橋村
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組							
■情報伝達、避難計画等に関する取組							
④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E F,K	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	H28年度から実施			
			【H28.6.20】・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域を公表済	実施済			
⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	D,E	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	
			検討中	引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表【H31.3.29】白岩川、大岩川、栃津川、上市川	引き続き実施	
⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D,E F	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	
			【H30.8.28】洪水ハザードマップに関する説明会を開催	引き続き実施	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表【H31.3.29】白岩川、大岩川、栃津川、上市川	引き続き実施	
⑦水位予測の検討及び精度の向上	B	・水位予測の精度向上の検討・システム改良	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施			
			・システム改良済。引き続き精度向上について検討	引き続き実施			
⑧防災気象情報の改善	B	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供				・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度
						【H29.5.17】「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始。 【H29.7.4】「危険度分布」の提供を開始。	H29完了

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	立山町	舟橋村							
2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組														
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組														
①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	M	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・町と共同で情報伝達訓練を実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・町と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き 毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き 毎年実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き 毎年実施	・国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	引き続き 毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き 毎年実施
			【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R01.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き 毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施	引き続き 毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.20】洪水対応演習を実施	引き続き 毎年実施	【H30.4.20】洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 【H30.4.25】水防連絡会にて連絡体制を確認	引き続き 毎年実施	30年秋頃、町総合防災訓練にて実施 R1年秋頃、町総合防災訓練にて実施予定。	引き続き 毎年実施	継続して実施	引き続き 毎年実施
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での合同巡視の実施	L,M	・重要水防箇所での合同巡視を実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	平成27年度から毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き 毎年実施	・重要水防箇所について、国、県と合同で毎年実施	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き 毎年実施
			【H28.6.8】合同巡視を実施 【H29.5.31】合同巡視を実施 【H30.6.6】合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H30.6.6】合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	【H29.5.31】【H30.6.6】合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	【H30.6.6】常願寺川・神通川の合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	継続して実施	引き続き 毎年実施	継続して実施	引き続き 毎年実施
③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	O,P	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き 毎年実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き 毎年実施	・要請による訓練への支援	引き続き 毎年実施	・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施	引き続き 毎年実施	・出水期前に水防協議会を実施する。	引き続き 毎年実施	・防災訓練の計画を策定	毎年実施 を検討
			【H29.5.19】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H30.5.18】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施	引き続き 毎年実施	【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	引き続き 毎年実施	要請のあった県、市町村の防災訓練参加	引き続き 毎年実施	【H30.5.18】常願寺川右岸において、水防工法研修会に参加 【H30.5.26】神通川右岸において、水防訓練を実施	引き続き 毎年実施	実施	H28.6 H29.6	継続して実施	引き続き 毎年実施
④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	N,P	・水防団員の募集促進							・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長会議への依頼により、募集促進	H29年度から検討	・広報誌やホームページで水防協力団体を募り、募集を実施	引き続き 毎年実施	・広報、HPでPRを実施	引き続き 毎年実施
									HP掲載、ポスター掲示の実施	引き続き 毎年実施	継続して実施	H29年度以降	今後検討	H30年度以降

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		立山町		舟橋村		
⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	O	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	
			【H28.9月,10月,11月】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加	引き続き実施	【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加	引き続き実施			高岡会場につき不参加(H27、H28富山会場にて参加)	引き続き実施	消防団(水防団)に周知	引き続き実施	継続して実施	引き続き実施	
			【H29.9月,10月】第1回～第3回水防技術基礎講座に参加		【H30.9月,10月,11月】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加										
⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	Q	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施									
			・検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施									
⑦大規模水害を想定した常願寺川排水計画(案)の検討を実施	R,S	・排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H28年度から検討	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H29年度から検討	・排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度から検討	・排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度から検討	
			・検討中	引き続き実施	・検討中	引き続き実施			排水ポンプ車配置計画を作成済	H30年度	・今後検討	H29年度以降	今後検討	H30年度以降	
⑧排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	Q	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報提供	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き毎年実施			・出水期前に国・県など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行い、毎年確認する。	引き続き実施	・連絡体制の整備	引き続き実施	
			【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R01.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施			・【H30.4.20】洪水対応演習を実施 ・【H30.4.25】水防連絡会にて連絡体制を確認(国) ・連絡体制を作成(市)	引き続き実施	今後検討	H29年度以降	継続して実施	引き続き実施	

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	立山町	舟橋村						
⑨関係機関が連携した排水実働訓練の実施	Q	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	H28年度から順次実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	・水防訓練の実施	引き続き実施	・町総合防災訓練と合同で実施を検討	順次実施	・防災訓練と合同で実施を検討	順次実施		
		・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	引き続き実施	【H29.4.21】定期訓練の実施 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H29.5.29】定期訓練の実施 【H30.4.26】定期訓練の実施 【H30.5.24】実働訓練の実施	引き続き実施	【H29.5.27】富山市主催の水防訓練(場所:富山市水橋入江地先 常願寺川右岸 常盤橋下流)へ参加 【H28年度】北陸地方整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	引き続き実施	【H30.7.25】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【H30.5.26】神通川右岸にて水防訓練を実施	引き続き実施	今後検討	H29年度以降	継続して実施	引き続き実施
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組													
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	K	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援	引き続き実施	・避難確保計画作成に向けた周知啓発	H29年度から検討	・要配慮者利用施設に対する、技術的助言を行う。	H28年度から順次実施	・地域防災計画の見直し等	H28年度から順次実施
		検計中	引き続き実施	【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9~11】要配慮者利用施設への説明会の実施予定 【H31.2.6】出前講座等を実施(富山県災害サービスセンター協議会) 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 【H31.3.29】白岩川、栃津川、大岩川、上市川	引き続き実施	【H29.2~H29.4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明した。	引き続き実施	HPIにて計画策定の手引きを周知、及び出前講座において説明を実施	引き続き実施	今後検討	H29年度以降	今後検討	H30年度以降
②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	I	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・大規模工場等へのハザードマップによる浸水リスクの周知説明	H29年度から検討	・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から実施	・広報、HPでPRを実施	H28年度から実施		H28年度から実施
		検計中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表 【H31.3.29】白岩川、栃津川、大岩川、上市川	引き続き実施	ハザードマップ作成後、HPにて公開し、リスクについて周知する	H31年度以降	今後検討	H29年度以降	今後検討	H30年度以降		

減災のための取組項目 (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市				
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
1. ハード対策の主な取組																
■ 洪水を河川内で安全に流す対策																
		・流下能力対策 ・侵食・洗掘対策 ・浸透対策 ・パイピング対策 ・堤防整備	T,U,V	・洪水を安全に流すためのハード対策の推進	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施								
					神通川: 6.8km実施済	引き続き実施	いたち川: 護岸L=250240m 山田川: 護岸L=270m 太田川: 護岸工L=140m 坪野川: 鉄道橋架替工事1式	引き続き実施								
					・防災拠点等の整備の検討	防災拠点等の整備を検討する。	引き続き実施									
				検討中	引き続き実施											
■ 危機管理型ハード対策																
		・堤防天端の保護 ・裏法尻の補強	W	・越水が発生した場合の危機管理型ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	引き続き実施	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	H28年度から順次整備								
					神通川: 32.1km実施済	引き続き実施	山田川: L=176m	H28完了								
■ 周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
① 新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O,P			・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・水防倉庫の備蓄材などをパトロールにて確認する。	H28年度から検討	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。	H28年度から検討		
					【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H30.6.6】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.6.2】富山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【H30.5.16】富山土木管内河川施設点検	引き続き実施	・出水期前後に水防倉庫の備蓄確認を実施 ・【H30.6.6】常願寺川・神通川の合同巡視時に確認	引き続き実施	今年度は合同巡視に出席できなかった。 検討中	H30年度から検討 引き続き実施				
					・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討	水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施	・新技術を活用した資機材の配備	H28年度から検討	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。	H28年度から検討				
				検討中	引き続き実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H28.5.25】富山土木管内河川施設点検 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H29.6.2】富山土木管内河川施設点検 【H30.6.6】合同巡視時に実施 【H30.5.16】富山土木管内河川施設点検	引き続き実施			ウォーターフェンスなど調査研究	引き続き実施	検討中	引き続き実施			

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		射水市	
②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L,J	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所)	H28年度から順次整備						
			【H28.8】神通川井田川左岸5.6k、右岸6.0k簡易水位計設置 【H31.1】危機管理型水位計 神通川6箇所、井田川5箇所、熊野川2箇所設置	引き続き実施	【H29.1現在】県管理の支川(水位周知河川)において施工中。 【H29.3】河川監視カメラ4台設置 【H31.34現在】祖母川・田島川合流点において監視カメラ設置施工中 【H31.34現在】県管理24河川において危機管理型水位計設置施工中	引き続き実施						

2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組

■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

①小中学校等における水災害教育を実施	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に進めていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に進めていく。	引き続き実施	自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施する。	引き続き実施	・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写真パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。	引き続き実施
			【H28.12.6】桜谷小学校にて出前講座(ハザードマップ)を実施 【H28.12.9】富山工業高校生に講義 【H30.1.17】大沢野小学校にて出前講座(現地見学)を実施	引き続き実施	検討中 (県管理河川、ダムにおいて小学校等に説明会を開催している。)	引き続き実施	【H28.6.8】富山県教育会にて出前講座(気象全般)を実施 【H29・H30】出前講座や見学会で小中学校への水防災の啓発を随時実施	引き続き実施	【H30.10.22】新庄北小学校5年生に出前講座を実施	引き続き実施	小学校1校に水害状況の写真パネル等を貸し出した。	引き続き実施
②出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	・出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に進めていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に進めていく。	引き続き実施	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・町内会や自主防災組織から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。	引き続き実施	・出前講座の活用を積極的に働きかける。	引き続き実施
			【H28.6.24現在】富山市羽根地区にて出前講座を実施 【H28.11.24現在】富山市草島地区にて出前講座を実施 【H29.9.24】富山市有沢新町にて出前講座を実施	引き続き実施	検討中 (県管理河川、ダムにおいて説明会等を開催している。)	引き続き実施	【H29.9.25】気象台で水防改正や新しい気象情報についての勉強会を実施 【H29・H30】自主防災会や防災士等を対象とした出前講座や見学会を随時実施	引き続き実施	出前講座の実施(60回)	引き続き実施	風水害をテーマとした出前講座を3540地区で実施(H28年4月～H31年4月)	引き続き実施
③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	引き続き実施	・市広報紙面に記事を掲載し市民への啓発を図る。	順次実施
			H29.6プッシュ型配信開始チラシの作成及び配布依頼	引き続き実施	検討中	引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	引き続き実施	H29.5 広報:避難情報・気象情報収集等に関する啓発 H29.6、H30.6 CATV:風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発	引き続き実施
④自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	A	・重要水防箇所等の共同点検	・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討			・国、県と合同で毎年実施	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施
			【H28.6.8】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H30.6.6】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H28.6.8】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【H29.5.31】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H30.6.6】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施			【H30.6.6】常願寺川・神通川の合同巡視時に参加し、共同点検を実施	引き続き実施	今年度は合同巡視に出席できなかった。検討中	H30年度から検討 引き続き実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	射水市			
②避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施 ・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供	順次実施 富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	順次実施 ・タイムラインの検証	引き続き実施 ・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルの見直すなど、タイムラインを意識した避難対策となるよう改善を図る。	順次実施		
			【H29.6】タイムライン作成済。今後、出水後の検証及び改善を実施	引き続き実施	検討中	引き続き実施	台風接近時に防災気象情報を発表し改善、修正点を抽出し、関係機関と調整	引き続き実施	検討中	引き続き実施
③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	D,E,F	・洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表	・神通川、西派川、井田川及び熊野川の洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表	H28年度から実施 ・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	H28年度から順次実施					
			【H28.6.20】洪水浸水想定区域図の策定・公表済 家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供済。 【H30.6】想定最大規模による氾濫シミュレーションを公表(浸水ナビ) 【H31.3.18】洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)の修正・公表	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 【H30.8.17】水位周知河川5河川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施				
④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	D,E,F,K	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	H28年度から実施 ・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	H28年度から順次実施		・立ち退き避難が必要な区域について避難方法の検討を行う。	H29年度から検討 ・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち退き避難が必要なエリアを検証し、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルを見直す。	H28年度から順次実施	
			【H28.6.20】浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域図を公表済	実施済	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 【H30.8.17】水位周知河川5河川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施	新たな洪水ハザードマップ作成に合わせて検討	引き続き実施 指定緊急避難場所施設の想定最大規模における浸水深を検証	引き続き実施	
⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	D,E	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施 ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施		・隣接市町村と協議し、検討する。	必要があれば検討 ・参加市町村で連携し広域避難に関する検討を行う。	H28年度から順次実施	
			検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 【H30.8.17】水位周知河川5河川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施	避難方法の検討を踏まえ、今後必要に応じて協議を実施	必要があれば検討	検討中	引き続き実施
⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	D,E,F	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施 ・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施		洪水ハザードマップの更新を行う	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。	H28年度から順次実施
			【H30.8.28】洪水ハザードマップに関する説明会を開催	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 【H30.8.17】水位周知河川5河川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施	新たな洪水ハザードマップの作成中	引き続き実施 平成31年度にハザードマップの見直しを予定しており、対応については検討中	引き続き実施	

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整	富山県	富山地方气象台	富山市	射水市
⑦水位予測の検討及び精度の向上	B	・水位予測の精度向上の検討・システム改良	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施			
			・システム改良済。引き続き精度向上について検討	引き続き実施			
⑧防災気象情報の改善	J	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供			・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度	
					【H29.5.17】「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始した。 【H29.7.4】「危険度分布」の提供を開始した。	H29完了	

2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	M	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町村と共同で情報伝達訓練の実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町村と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	情報伝達訓練等への支援	引き続き毎年実施	国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き毎年実施
			【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R01.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.6.22】礪川水防情報伝達訓練を実施	引き続き毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.20】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施	【H30.4.20】洪水対応演習(除法伝達訓練)に参加 【H30.4.25】水防連絡会にて連絡体制を確認	引き続き実施	【H28.4.21】【H29.4.27】【H30.4.25】水防連絡会にて確認	引き続き実施
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での合同巡視の実施	L,M	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施	共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き毎年実施	・重要水防箇所について、水防団も参加し、国、県と合同で毎年実施	引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き毎年実施
			【H28.6.8】合同巡視を実施 【H29.5.31】合同巡視を実施 【H30.6.6】合同巡視を実施	引き続き毎年実施	【H28.6.8】合同巡視時に実施 【H29.5.31】合同巡視時に実施 【H30.6.6】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	【H29.5.31】【H30.6.6】合同巡視時に参加し、共同点検を実施	引き続き毎年実施	【H30.6.6】常願寺川・神通川の合同巡視で共同点検を実施	引き続き実施	今年度は合同巡視に出席できなかった。検討中	H30年度から検討引き続き実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	射水市
③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	O,P	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	要請による訓練への支援	・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。
			【H28.5.18】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H29.5.19】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H30.5.18】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H30.5.26】富山市主催の水防訓練へ参加	【H28.5.28】富山市主催の水防訓練へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.5.26】富山市主催の水防訓練へ参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	【H29.9.30】富山県総合防災訓練 【H30.9.29】富山市防災訓練に参加	【H30.5.18】常願寺川右岸にて水防工法研修会に参加 【H30.5.26】神通川右岸にて水防訓練を実施	【H28.6.10】【H29.6.20】射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。
④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	N,P	・水防団員の募集促進				・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長会議への依頼により、募集促進	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。
						HP掲載、ポスター掲示の実施	ホームページ等で消防団員の募集を行っている。
⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	O	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加		・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加
			【H28.9.10月、11月】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加 【H29.9.10月】第1回～第3回水防技術基礎講座に参加 【H30.9.10月、11月】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加	【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加		高岡会場につき不参加 (H27、H28富山会場にて参加)	【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。
⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	Q	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施		
			検討中	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 【H30.8.17】水位周知河川6河川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施		
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組							
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	K	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援	・避難確保計画作成に向けた周知啓発
			検討中	【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9～11】要配慮者利用施設への説明会の実施 【H31.2.6】出前講座等を実施(富山県サービスセンター協議会) 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施	【H29.2～H29.4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明した。	HPにて計画策定の手引きを周知および出前講座にて説明を実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)			北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	射水市			
②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	I	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・ハザードマップによる浸水リスクの周知	H29年度から検討		
			検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 【H30.8.17】水位周知河川5河川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施	ハザードマップ作成後、HPIにて公開し、リスクについて周知する	H31年度以降		
2. ソフト対策の主な取組 ④社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化										
■ 救援・救助活動の効率化に関する取組										
①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	E,R	・広域支援拠点等の検討支援	・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・河川管理者などから情報提供を受けて、関係機関との協議を行い、計画策定	H29年度から検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討
			検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中 【H30.8.17】水位周知河川5河川の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表 【H30.8.17】いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川	引き続き実施	地域防災計画にて掲載済み	検討中	引き続き実施	
■ 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施										
①氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	R,S	・排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	H28年度から検討	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討	・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定	H28年度から検討
			H29年度に排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施	引き続き実施	検討中	引き続き実施	排水ポンプ車配置計画作成済	H30年度	検討中	引き続き実施
②排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	S	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き実施	・出水期前に国・県など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。	引き続き実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	引き続き毎年実施
			【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R01.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.6.22】礪川水防情報伝達訓練を実施	引き続き実施	・【H30.4.20】洪水対応演習を実施 ・【H30.4.25】水防連絡会にて連絡体制を確認(国) ・【H30.6.22】礪川水防情報伝達訓練を実施 ・連絡体制作成(市)	引き続き実施	【H28.4.21】【H29.4.27】【H30.4.25】水防連絡会で連絡体制の整備、情報の共有化を実施	引き続き実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整	富山県	富山地方气象台	富山市	射水市	
③関係機関が連携した排水 実働訓練の実施	T	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	H28年度から実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	・水防訓練の実施 引き続き実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加 順次実施
		・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	引き続き実施	【H28.5.28】富山市主催の水防訓練(場所:富山市磯部町二丁目地先 神通川右岸 富山大橋上流)へ参加 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H29.5.27】富山市主催の水防訓練へ参加 【H29年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.5.26】富山市主催の水防訓練へ参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	引き続き実施	【H30.7.25】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 【H30.5.26】神通川右岸にて水防訓練を実施	引き続き実施

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整		富山県		富山地方気象台		富山市		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市	
項目	事項	内容	課題の対応	目標時期	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1. ハード対策の主な取組																					
■洪水を河川内で安全に流す対策																					
		・流下能力対策 ・侵食・洗掘対策 ・浸透対策 ・パイピング対策 ・堤防整備	W.X	引き続き実施	・洪水を安全に流すためのハード対策の推進	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。 庄川: 2.8km実施済	引き続き実施	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。 地久子川: 護岸L=190m、橋梁下部工	引き続き実施												
					・防災拠点等の整備の検討	・防災拠点等の整備を検討する。 検討中	引き続き実施														
■危機管理型ハード対策																					
		・堤防天端の保護 ・裏法尻の補強	Y	引き続き実施	・越水が発生した場合の危機管理型ハード対策の推進	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。 庄川: 17.4km実施済	引き続き実施														
■周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																					
		①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O,R,T	・引き続き実施 ・H28年度から検討	水防資材の確認・整備	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H29.6.1】合同巡視時に実施 【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き実施	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H28.5.25】高岡土木管内河川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河川施設点検 【H30.6.15】高岡土木管内河川施設点検 【H30.5.22】砺波土木管内河川施設点検	引き続き実施			・水防倉庫の備蓄材などを水防パトロールにて確認する。 H28年度から検討	・河川管理者と連携を図り、水防資機材配備状況の確認や整備を実施する。 引き続き実施	・河川管理者や水防管理者(庄川水害予防組合)と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認を実施する。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	
		①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	O,R,T	・引き続き実施 ・H28年度から検討	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備 検討中	引き続き実施	・水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H28.5.25】高岡土木管内河川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河川施設点検 【H30.6.15】高岡土木管内河川施設点検 【H30.5.22】砺波土木管内河川施設点検	引き続き実施			・新技術を活用した資機材等の配備 H28年度から検討	・河川管理者と連携を図り、水防資機材配備状況の確認や整備を実施する。 引き続き実施	・河川管理者や水防管理者(庄川水害予防組合)と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認を実施する。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。 H28年度から検討	
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L.N	H28年度から順次整備	・簡易水位計、CCTVカメラの設置 【H31.1】危機管理型水位計5箇所設置	・簡易水位計、CCTVカメラの設置 H28年度から順次整備	引き続き実施	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) 【H29.6】河川監視カメラの設置1基(高岡土木) 県管理の支川(水位周知河川)において施工中	引き続き実施			・河川沿川における同報系防災行政無線の整備を検討する。 H28年度から順次整備	引き続き実施								
2. ソフト対策の主な取組 ①急流河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組																					
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																					
		①小中学校等における水災害教育を実施	A,B,C	引き続き実施	出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 【H28.12.9】富山工業高校生に講座を実施 【H30.7.12】支援校の砺波市立庄南小学校で避難訓練後の防災集会以て使用する説明資料を支援 【H30.9.28】支援校の射水市立大門小学校で防災授業で使用する説明資料及び講義を支援	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。 説明会の実施 ・和田川ダム 【H28.6.20(ほか)】射水市立新湊小学校4年生ほか8校	引き続き実施	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援 【H28.4.15】砺波市教育委員会にて出前講座(気候温暖化)を実施 【H28.12.9】砺波・高岡地区高専学校事務職員に出前講座(天気図等)実施 【H30】出前講座や見学会で小中学校への水防の啓発を実施	引き続き実施	・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施する。 【H30.10.22】新庄北小学校5年生に出前講座を実施	引き続き実施	・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。 H29年度から検討	・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写真パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。 順次実施する	・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写真パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。 小学校1校に水害状況の写真パネル等を貸し出した。 引き続き実施	・出前講座等で防災教育を実施する。 引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。 引き続き実施	・小・中学校からの依頼により、防災教育全般として実施している。 【H28.6】福野高校生徒からの聞き取り調査に協力	引き続き実施

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	高岡市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市							
②出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A,B,C	引き続き実施	出前講座等の活用	・市町村の要請により、出前講座等を積極的に行っている。	引き続き実施	・関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・町内会や自主防災組織から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施している。	引き続き実施	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施	・自治会等から出前講座の要請があれば実施	引き続き実施				
				【H28.6.19】砺波市南般若地区にて出前講座を実施 【H28.9.11】高岡市角地区にて出前講座を実施 【H29.7.27】射水市古新町地区にて出前講座を実施	引き続き実施	説明会の実施 ・境川ダム 【H28.8.20】砺波市西中地区農地水保全会 【H28.9.28】南砺市ボランティア連絡協議会	引き続き実施	【H29】高岡市、砺波市、小矢部市の要請により、自主防災組織を対象とした出前講座を実施 【H29.9】気象台で水防改正や新しい気象情報についての勉強会を実施 【H30】出前講座や見学会で水防災の啓発を随時実施	引き続き実施	出前講座の実施(60回)	引き続き実施	自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施した(H30年度53件(洪水)) (H31.1月現在)	引き続き実施	風水害をテーマとした出前講座を3540地区で実施(H28年4月～H31年4月)	引き続き実施	【H31.3現在】各種団体等48回実施	引き続き実施	出前講座等2回実施	引き続き実施
③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	A,B,J	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	引き続き実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。	順次実施	・市広報紙面に記事を掲載し市民への啓発を図る。	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き毎年実施	・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	順次実施
				【H29.6】プッシュ型配信開始チラシの作成及び配布依頼	引き続き実施	検討中	引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	作成され次第、配布に協力し、住民へ周知	引き続き実施	・洪水情報のプッシュ型配信や避難準備情報の名称変更など、市民により分かりやすい内容となるように周知資料の作成 防災マップを更新し、年度当初に全自治会員へ配布した。その後、出前講座等で周知・説明を行っている。	引き続き実施	H29.5 広報・避難情報・気象情報収集等に関する啓発 H29.6、H30.6 CATV: 風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H30.6】広報に掲載済	引き続き実施
④自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	C	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検	・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から順次、毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	順次毎年実施	・県と合同で毎年実施	順次毎年実施		
				【H28.6.9】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H30.6.7】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H28.6.9】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【H30.5.28】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【H30.6.7】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	引き続き実施	【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き実施
⑤まるごとまちごとハザードマップを整備	F,G,H	順次実施	まるごとまちごとハザードマップへの情報提供	・市町村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	H28年度から順次実施	・ハザードマップ見直しの際に実施の必要性について検討する。	必要があれば検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	H28年度以降検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・市財政課・防災担当課と協議し、必要性の有無等について検討していく。	順次実施
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施	ハザードマップ作成後、必要があれば設置を検討	必要があれば検討	検討中	引き続き実施	【H30.4】～	引き続き実施	【H30.4】～	引き続き実施	【H30.4】～	引き続き実施	【H30.4】～	引き続き実施
⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	M	引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発 自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	・自主防災組織等への結成率の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、出前講座・水防訓練を実施する。 ・自主防災組織の要となる防災士を育成する。	順次実施	・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。	順次実施	・住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士による訓練指導等の実施	順次実施	・地域の防災力向上を図るために研修会の実施や防災士による出前講座の実施	引き続き毎年実施	・平成28年3月29日に防災士の有志により「防災こころえ隊」を設立した。当隊は、自主防災組織からの派遣要請に基づき、各種訓練に参加のうえアドバイスをすることで、自主防災組織の活性化につながっている。今後も積極的に隊の活動を推進していくことで、地域の防災力向上を図る。	順次実施
				【H28年度】自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施	富山県総合防災訓練会場となった富山市に対し、訓練等への支援実施 ・総合防災訓練を実施する射水市に対し、総合防災訓練への支援実施 継続して実施	引き続き実施	・自主防災組織等への結成率の向上を図る。 ・自主防災組織の要となる防災士を育成。 ・自主防災組織結成実績4件 ・自主防災組織連絡協議会結成実績4件 ・自治会等を対象に、防災に係る出前講座を実施。(19件)(H31.2.8～R1.5.22) ・庄川左岸河川敷(高岡市出染田地区)において、水防訓練を実施 ・県西部6市と合同で、防災士育成事業を実施(R1.5.23)	引き続き実施	・自主防災組織結成に向けての出前講座を実施 ・訓練補助金や資機材補助金の交付を実施 ・防災士資格取得のための補助金交付を実施 ・防災士による防災講座の実施(富山県防災士会との協働) ・地域の防災リーダー育成研修を実施(富山県防災士会との協働)	引き続き実施	・水害に関する出前講座を実施(7件) ・自主防災組織等への結成率の向上 ・自主防災組織の要となる防災士を育成 ・自主防災組織結成実績4件 ・自主防災組織連絡協議会結成実績4件 ・自治会等を対象に、防災に係る出前講座を実施。(19件)(H31.2.8～R1.5.22) ・庄川左岸河川敷(高岡市出染田地区)において、水防訓練を実施 ・県西部6市と合同で、防災士育成事業を実施(R1.5.23)	引き続き実施	・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活動を支援 ・【H28.8.21】福井地区で市総合防災訓練実施 ・【H30.9.2】作道地区で富山県・射水市総合防災訓練実施 ・H31.3 風水害時等の自主的な避難に関する、「市、施設管理者、住民」それぞれの役割分担やルールを明確化した「自主避難所開設・運営マニュアル」を作成	引き続き実施	防災士による避難所設置訓練を実施(3地区で実施) 【H30.9.2】想定最大規模を想定した「垂直避難訓練」の実施	引き続き実施	防災訓練を実施	引き続き実施

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)		北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	高岡市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市	
2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	I,J,K,L	順次実施	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施 ・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施 ②また、アラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供 ・河川情報システムの改良 ・帯域末向けのシステムの実施 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き実施	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	順次整備 ・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備 ・避難情報をリアルタイムに受信できる、SNSやスマートフォンアプリについて引き続き、普及を図る。	順次整備 ・高岡市防災情報メールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。また、エリアメール、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送を活用する。	引き続き実施	・防災行政無線を整備し屋外拡声子局を56局(親局を含む)から113局に増やし、一斉放送による音速エリアを拡充する。また、放送内容と同じものをエリアメールや登録制のメール配信、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送で配信するシステムを整備する。	
②各関係機関が参画した「庄川・小矢部川タイムライン検討会」における急流河川の特性を踏まえた大規模水害時のタイムライン(事前防災計画)の策定と検証及び改善	E	順次実施	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施 ・市町村が作成する。タイムラインに必要な水位情報等の提供	引き続き実施	・大雨が予想された場合、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	H29完了	・アナログ式防災行政無線をデジタル式に再整備を進めている。 ・SNSやスマートフォンアプリについて広報、HPおよび出前講座での普及を推進	引き続き実施	・高岡市防災情報メールについて、更なる普及のため周知・広報を実施 ・市防災情報メールについて、市HPで周知するとともに、出前講座等の際に登録を呼びかけた。 ・情報伝達手段の整備(システムの再構築)については、現在検討中。	
③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	F,G,H	H28年度から実施	・庄川の洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表	H28年度から実施	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	H28年度から順次実施	・庄川河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	順次実施	・関係機関が参画したタイムラインの策定	引き続き実施	・作成済みタイムラインの改善を実施、洪水対応マニュアルの見直しを実施する。
④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	F,G,H,M	H28年度から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。 ・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	H28年度から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	H28年度から順次実施	・大雨災害後、市町村と振り返りを実施 【H30.3.20】 【H30.5.15】 【H30.6.27】庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会(仮称)に参加	引き続き実施	【H30.6.27】第3回庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会に参加	引き続き実施	・作成済みタイムラインの改善を実施、洪水対応マニュアルの見直しを実施する。
⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	F,G	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・隣接市町村と協議を実施し、検討する。	必要があれば検討	・県西部6市と連携し、広域避難計画を検討する。	平成28年度から順次実施	・参加市・町で連携し広域避難に関する検討を行う。
⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	F,G,H	H28年度から実施	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H28年度から実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	洪水ハザードマップの更新を行う	富山県の浸水想定区域の策定を受けて策定	・洪水ハザードマップの見直しを行い、周知・広報を実施する。	H28年度から順次実施	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。
⑦水位予測の検討及び精度の向上	D	引き続き実施	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施	・システム改良済。引き続き精度向上について検討	引き続き実施					

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	高岡市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市
⑧防災気象情報の改善	L	H29年度	・新しい防災気象情報を気象庁HPで提供			「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供						
						[H29.5.17]「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始した。 [H29.7.4]「危険度分布」の提供を開始した。						

2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																																			
①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	P	引き続き 毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練の実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き 毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き 毎年実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き 毎年実施	・国・県と連携した、情報伝達訓練の実施	引き続き 毎年実施	・河川管理者と市、消防本部、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 ・首長が参加する本部運営訓練、市職員の参集訓練を実施する。 ・消防団への連絡体制の強化として、災害メール、携帯無線、消防団幹部への電話連絡などを実施する。																							
				[H28.4.21]水防連絡会にて確認 [H28.5.27]洪水対応演習を実施 [H29.4.27]水防連絡会にて確認 [H29.5.12]洪水対応演習を実施 [H30.4.20]洪水対応演習を実施 [H30.2.27]水防連絡会幹事会で確認 [H30.4.20]洪水対応演習を実施 [H31.2.12]水防連絡会幹事会で確認 [H31.4.26]洪水対応演習を実施 [R1.5.18]総合水防演習を実施 [R01.6.6]水防連絡会総会で確認	引き続き 毎年実施	[H28.4.21]水防連絡会にて確認 [H28.5.27]洪水対応演習を実施 [H29.5.12]洪水対応演習を実施 [H30.4.20]洪水対応演習を実施 [H30.4.25]水防連絡会にて確認	引き続き 毎年実施	[H29.4.27]水防連絡会にて確認 [H29.5.12]洪水対応演習を実施 [H30.4.20]洪水対応演習を実施	引き続き 毎年実施	[H30.4.20]洪水対応演習(情報伝達訓練)に参加 [H30.4.25]水防連絡会にて連絡体制を確認	引き続き 毎年実施	[29.4.27][H30.4.25]水防連絡会に出席し確認した。 [29.5.12][H30.4.20] [H31.4.26]洪水対応演習に参加した。	引き続き 毎年実施	[H28.4.21][H29.4.27][H30.4.25]水防連絡会に出席し確認した。 [H28.5.27][H29.5.12][H30.4.20][H31.4.26]洪水対応演習に参加した。	引き続き 毎年実施	[30.4.25]水防連絡会に出席し確認した。	引き続き 毎年実施	[H30.4.25]水防連絡会に出席し確認した。 [H30.4.20][H31.4.26]洪水対応演習に参加した。	引き続き 毎年実施	南砺市防災訓練及び事前訓練で、水防団と一緒に実施	引き続き 毎年実施														
②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	N,O,P	引き続き 毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を行う。	引き続き 毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治体等が参加した重要水防箇所の点検を実施する。	引き続き 毎年実施	[H28.6.9]合同巡視を実施 [H29.6.1]合同巡視を実施 [H30.6.7]合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	[H28.6.9][H29.6.1][H30.6.7]合同巡視時に地元住民も出席し重要水防箇所の共同点検を行った。	引き続き 毎年実施	[H30.6.7]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	[H28.6.9]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	[H28.6.9]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施								
				[H28.6.9]合同巡視を実施 [H29.6.1]合同巡視を実施 [H30.6.7]合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	[H28.6.9]合同巡視時に実施 [H30.6.7]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	[H28.6.9][H29.6.1][H30.6.7]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	[H29.6.1][H30.6.7]重要水防箇所の合同点検参加	引き続き 毎年実施	[H28.6.9][H29.6.1][H30.6.7]合同巡視時に地元住民も出席し重要水防箇所の共同点検を行った。	引き続き 毎年実施	[H30.6.7]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	[H30.6]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	[H30.6]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	[H28.6]合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施														
③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	R,S	引き続き 毎年実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き 毎年実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き 毎年実施	・要請による訓練への支援	引き続き 毎年実施	・水防団、国、県、自主防災組織などが参加し、出水期前に水防訓練の実施	引き続き 毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている実働水防訓練の内容を検討する。	引き続き 毎年実施	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。	引き続き 毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練等の検討する。	引き続き 毎年実施	・毎年防災訓練を実施	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・平成29年度は小矢部川、[H30.6.2]庄川左岸河川敷(高岡市出来田地先)において、水防訓練を実施 [R1.5.18]庄川・小矢部川総合水防演習に参加	引き続き 毎年実施	[H28.6.10][H29.6.20]射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 [H28.9.30][H28.10.21][H29.9.29][H29.10.13]北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き 毎年実施	[H30.9.23]防災訓練時に水防団と一緒に実施	引き続き 毎年実施	南砺市防災訓練及び事前訓練で、水防団と一緒に実施	引き続き 毎年実施						
				[H29.5.19]水防連絡会主催で水防工法講習会を実施 [H30.5.18]水防連絡会主催で水防工法講習会を実施 [H30.6.2]高岡市主催の水防訓練へ参加	引き続き 毎年実施	[H28.8.27]県総合防災訓練を実施(砺波市、小矢部市、南砺市) [H28年度]北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 [H30.10.16]水防技術講習会に参加	引き続き 毎年実施	要請のあった県、市町村の防災訓練参加 [H29.8.20]総合防災訓練(射水市)の支援実施 [H30.9.2]富山県防災訓練へ参加	引き続き 毎年実施	[H30.5.18]常願寺川右岸において、水防工法講習会に参加 [H30.5.26]神通川右岸において、水防訓練を実施	引き続き 毎年実施	[平成29年度は小矢部川、[H30.6.2]庄川左岸河川敷(高岡市出来田地先)において、水防訓練を実施 [R1.5.18]庄川・小矢部川総合水防演習に参加	引き続き 毎年実施	[H28.6.10][H29.6.20]射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 [H28.9.30][H28.10.21][H29.9.29][H29.10.13]北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き 毎年実施	[H30.9.23]防災訓練時に水防団と一緒に実施	引き続き 毎年実施	[H30.9.23]防災訓練時に水防団と一緒に実施	引き続き 毎年実施	[H30.9.23]防災訓練時に水防団と一緒に実施	引き続き 毎年実施														
④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	Q,S	引き続き 実施	・水防団員の募集促進							・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP掲載や、ポスター掲示、自治振興会長会議への依頼により、募集促進	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・広報誌やホームページで水防協力団体の募集を行う。	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・HP掲載、ポスター掲示の実施	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・ホームページ等で消防団員の募集を行っている。	引き続き 毎年実施	・ホームページ等で消防団員の加入啓発を行っている。	引き続き 毎年実施	・他市町村の実施状況を参考に、市防災担当課と協議しながら対応を検討する。	引き続き 毎年実施	引き続き 毎年実施	引き続き 毎年実施	引き続き 毎年実施			
⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	R	引き続き 毎年実施	・水防技術講習会に参加	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施			・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施	・水防技術講習会に参加	引き続き 実施
				[H28.9.9][H28.10.11]第4回～第6回水防技術基礎講座に参加 [H29.9.10][H29.10.11]第1回～第3回水防技術基礎講座に参加 [H30.9.9][H30.10.11]第4回～第6回水防技術基礎講座に参加	引き続き 実施	[H28年度]北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 [H30.10.16]水防技術講習会に参加	引き続き 実施			高岡会場につき不参加(H27、H28富山会場にて参加)	引き続き 実施	[H29.5.19]水防工法訓練参加 ・[H30.10.16][H30.11.9]北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き 実施	[H28.9.30][H28.10.21][H29.9.29][H29.10.13]北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き 実施	[H30.5.18]水防工法訓練参加	引き続き 実施	[H30.5.18]水防工法訓練参加	引き続き 実施	[H30.5.18]水防工法訓練参加	引き続き 実施														

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	高岡市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市									
⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	T	H28年度から検討	・復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施														
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施														
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																					
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	M	引き続き実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援	引き続き実施	・避難確保計画作成に向けた周知啓発	H29年度から検討	・要配慮者施設における避難確保計画の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼した。順次、関係施設に対して説明を行う予定。対象となる施設の管理者へ、計画策定についての資料提供及び説明会を実施した。	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設における避難確保計画の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体制を確認した。	H28年度から順次実施	・要配慮者施設における避難確保計画の推進を行う。	H28年度から順次実施	・要配慮者施設における避難確保計画の推進を行う。	H28年度から順次実施
				検討中	引き続き実施	【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9~11】要配慮者利用施設への説明会の実施予定 【H30.5.16】施設管理者向け説明会で説明(南砺市)	引き続き実施	【H29.2~H29.4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明	引き続き実施	HPにて計画策定の手引きを周知、及び出前講座において説明を実施	H31年度以降	施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼した。順次、関係施設に対して説明を行う予定。対象となる施設の管理者へ、計画策定についての資料提供及び説明会を実施した。	H29年度から検討	・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から順次実施	【H30.2.9】対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体制を確認した。 【H30.2.15】対象施設に避難確保計画策定等が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開始	引き続き実施	対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定について説明会を開催 対象施設すべて計画策定済み	H30年5月	避難計画の有無を継続的に確認。	引き続き実施
②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	K	引き続き実施	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・ハザードマップによる浸水リスクの周知	H29年度から検討	・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から順次実施					・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H28年度から順次実施		
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			ハザードマップ作成後、HPにて公開し、リスクについて周知する	H31年度以降	検討中 洪水ハザードマップの改定作業に合わせ、検討中	引き続き実施 H30.4~								

2. ソフト対策の主な取組 ④社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化

■救援・救助活動の効率化に関する取組																					
①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	G,U	H28年度から検討	・広域支援拠点等の検討支援	・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・河川管理者などから情報提供を受けて、関係機関との協議を行い、計画策定	H29年度から検討	・受援計画を策定し、広域支援拠点等の配置等を検討する。	H28年度から検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討	・広域支援拠点等の配置計画を検討	H28年度から検討	・新たな浸水想定に基づき現行の地域防災計画等の見直しを検討する。	H28年度から検討	・広域支援拠点等の配置計画の検討	H28年度から検討
				検討中	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を作成中	引き続き実施			地域防災計画にて掲載済み	引き続き実施	【富山県受援体制検討会に参画するとともに、富山県災害時受援計画(H31.3策定)を踏まえ、高岡市受援計画策定に向けて、情報収集を実施	引き続き実施 H30.4~	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施		

■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																					
①大規模水害を想定した庄川排水計画(案)の検討を実施	U,V	H28年度から検討	排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	・極門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H28年度から検討	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水ポンプ車の配置を再検討	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H28年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H28年度から検討
				検討中	引き続き実施	H29年度に排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施	引き続き実施	状況に応じた配置に努める	引き続き実施	【H29.7.31】国、県と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認 H30は7月豪雨のため延期	引き続き実施	・地下街への浸水を想定した避難計画及び排水計画(案)の必要性を検討する。	H28年度から検討	引き続き実施 H30.4~	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施
②地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討を実施	V	H28年度から検討	・地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討支援	・地下街が浸水した場合の排水計画(案)の検討支援	H28年度から検討																
				検討中	引き続き実施																
③排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	V	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備、情報共有	・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き実施			・出水期前に国・県など関係機関と連絡体制の情報共有を図る。	引き続き実施	・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を実施	引き続き毎年実施	・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作成する。	引き続き毎年実施
				引き続き実施	引き続き実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H29.7.31】高岡市と危険箇所合同点検を実施 【H29.8.2】射水市と危険箇所合同点検を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R01.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き実施	【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認	引き続き実施	【H29.5.12】【H30.4.20】 【H31.4.26】洪水対応演習にて実施	引き続き実施	【H28.4.21】【H29.4.27】 【H30.4.25】水防連絡会にて確認	引き続き実施	【H30.4】確認済	引き続き毎年実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施

減災のための取組項目(素案) (概ね5年間)				北陸地整	富山県	富山地方気象台	富山市	高岡市	射水市	砺波市	小矢部市	南砺市						
④関係機関が連携した排水実働訓練の実施	Y	順次実施	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	・水防訓練の実施 引き続き実施	・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。	順次実施 ・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施 ・水防訓練と合同で訓練を検討	順次実施 ・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施 ・河川管理者が行う操作訓練に参加						
				【H29.4.21】定期訓練の実施 【H29.5.29】実働訓練の実施 【H30.4.26】定期訓練の実施 【H30.5.24】実働訓練の実施 【H30.6.2】高岡市主催の水防訓練へ参加	引き続き実施	【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	引き続き実施	・【H30.7.25】富山防災センターにて排水作業訓練を実施 ・【30.5.26】神通川右岸にて水防訓練を実施	引き続き実施	(平成29年度は小矢部川)【H29.6.3】水防訓練実施(長慶寺地先) 【H30.6.2】庄川左岸河川敷において、水防訓練を実施 【R1.5.18】庄川・小矢部川総合水防演習に参加	引き続き実施	【H28.12.21】富山河川国道事務所の災害対策車両訓練が行われた。	引き続き実施	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H28.5.18】常願寺川右岸での、水防工法研修会に南砺市消防署へ参加依頼を要請
3. その他																		
■その他																		
自治体への地域防災計画や水防計画の改定				・広域支援拠点等の検討支援	H28年度から検討		・関係機関と見直し箇所の調整や見直しを行った部分への支援やアドバイス	引き続き実施										

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
1. ハード対策の主な取組																		
■洪水を河川内で安全に流す対策																		
・浸透対策 ・バイピング対策 ・堤防整備		・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施		・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き実施												
		小矢部川:2.0km実施済	引き続き実施		谷内川:護岸L=160m、橋梁下部工、取水堰下部工 小矢部川水系和田川:護岸L=50m 黒石川:護岸L=157m 横江宮川:護岸L=700+13m 坂又川:護岸L=40m 小矢部川:護岸L=12m、根継L=55m	引き続き実施												
		・防災拠点等の整備を検討する。	引き続き実施															
		検討中	引き続き実施															
■危機管理型ハード対策																		
・堤防天端の保護		・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進する。	引き続き実施															
		小矢部川:24.3km実施済	引き続き実施															
■周知・理解促進、避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備		・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施		水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・河川管理者と連携を図り、水防資機材配備状況の確認や整備を実施する。	引き続き実施	・河川管理者と連携し、水防資機材の配備状況を確認し整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。	H29年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認を実施する。	H28年度から検討	・河川管理者や水防団と連携を図り水防資機材の配備状況の確認を行う。	H29年度から検討
		【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H29.6.1】合同巡視時に実施 【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き実施		【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H29.6.27】高岡土木管内河川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河川施設点検 【H29.5.29】小矢部土木管内河川施設点検 【H30.6.15】高岡土木管内河川施設点検 【H30.5.22】砺波土木管内河川施設点検 【H30.9.5】小矢部土木管内河川施設点検	引き続き実施		【H29.6.1】【H30.6.7】合同巡視時に実施 出水期前に資機材配備状況を確認し不足する資材を補充	引き続き実施	【H28.6.9】【H29.6.1】【H30.6.7】合同巡視に参加し水防資材を確認した。	引き続き実施	【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き実施	【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き実施	今後検討	引き続き実施	
		・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討		水防パトロールにて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施												
		検討中	引き続き実施		【H28.6.9】合同巡視時に実施 【H29.6.27】高岡土木管内河川施設点検 【H29.5.19】砺波土木管内河川施設点検 【H29.5.29】小矢部土木管内河川施設点検 【H30.6.15】高岡土木管内河川施設点検 【H30.5.22】砺波土木管内河川施設点検 【H30.9.5】小矢部土木管内河川施設点検	引き続き実施												

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次整備	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) 【H29.3】砺波土木:3基設置 【H29.6】高岡土木:3基設置 【H29.4.28】小矢部土木:3基設置 【H30.10】砺波土木:14基台設置 ・簡易水位計の設置 【H31.1】小矢部土木:6台設置	H28年度から順次整備			・河川沿川における同報系防災行政無線の整備を検討する。	引き続き実施								
			【H31.1】危機管理型水位計9箇所設置	引き続き実施	県管理の支川(水位周知河川)において施工中。	引き続き実施			・現在、土砂災害危険地区を中心に整備しており、河川沿川の整備については検討中	引き続き実施								
2. ソフト対策の主な取組 ①河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組																		
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																		
		①小中学校等における水災害教育を実施	・市の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。	H29年度から検討	・小中学校から要望があった場合、過去に生じた水害状況の写真パネルや資料提供を行う。また、出前講座の申込があれば対応する。	引き続き実施	・出前講座等で防災教育を実施する。	引き続き実施	・出前講座等で要望があった場合、防災教育を実施する。	引き続き実施	・小・中学校からの依頼があれば、防災教育全般として実施している。	引き続き実施
			【H28.12.9】富山工業高校生に講義 【H30.10.16】支援校の小矢部市立東部小学校で出前講座による防災教育を支援	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H28.12.9】高岡地区高等学校事務職員に出前講座(天気図等)実施 【H29.30】出前講座や見学会で小中学校への水防災の啓発を実施	引き続き実施	富山河川国道事務所と合同で防災学習を実施した。(万葉小学校) ・小中学校からの要望に応じ、防災教育等に関する出前講座を実施する。	順次実施する	小学校1校に水害状況の写真パネル等を貸し出した。	引き続き実施	・各学校にて継続して実施 ・中・高校生からの要請により開取り調査に協力	引き続き実施	検討中	引き続き実施	今後検討	引き続き実施
		②出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	・市の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施	・出前講座の活用を積極的に働きかける。	引き続き実施	・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を実施	引き続き実施	・出前講座等を活用し水防災等に関する説明会を実施する。	引き続き実施	・自治会等から出前講座の要請があれば実施	引き続き実施
			検討中	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H28年度】高岡市、砺波市、小矢部市の要請により、自主防災組織を対象とした出前講座を実施。 【H29.30】出前講座や見学会で水防災の啓発を実施	引き続き実施	自主防災会等を対象に、洪水をテーマとした出前講座を実施した(H30年度53件(洪水))(H31.1月現在)	引き続き実施	風水害をテーマとした出前講座を3540地区で実施(H28年4月～H31年4月)	引き続き実施	【H31.3現在】各種団体等48回実施	引き続き実施	出前講座等を2回実施	引き続き実施	・出前講座による説明会開催を市民にPR ・出前講座を実施 H30.10.21 井口婦人防火クラブ20名	引き続き実施
		③効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等(協議会で作成)	順次実施	・関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布する。 ・「防災マップ&市民便利帳」の改定時に併せて、特集ページを作成する。 ・市広報誌への掲載を検討する。	順次実施	・市広報紙面に記事を掲載し市民への啓発を図る。	順次実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	順次実施	・毎年6月広報で大雨による災害対策について特集している。	引き続き実施	・国、県からの広報等を配布し管内への周知を図る。	順次実施
			H29.6プッシュ型配信開始チラシの作成及び配布依頼	引き続き実施	検討中	引き続き実施	・気象情報等のチラシの配布	引き続き実施	・洪水情報のプッシュ型配信や避難準備情報の名称変更など、市民により分かりやすい内容となるように周知資料の作成 防災マップを更新し、年度当初に全自治会員へ配布した。その後、出前講座等で周知・説明を行っている。	引き続き実施 H30.4～	H29.5 広報:避難情報・気象情報収集等に関する啓発 H29.6、H30.6 CATV:風水害時の対策(備蓄・情報収集)に関する啓発	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H29.6】広報に掲載済	引き続き実施	今後検討	引き続き実施
		④自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	・重要水防箇所等の共同点検を実施	H27年度から毎年実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施	H28年度以降検討			・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治会等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	順次毎年実施	・県と合同で毎年実施	順次毎年実施
			【H28.6.9】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施 【H30.6.7】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【H29.6.1】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【H30.5.25】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。 【H30.6.7】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。	引き続き実施			【H29.6.1】【H30.6.7】沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を実施	引き続き実施	【29.6.1】【H30.6.7】合同巡視に出席し重要水防箇所の共同点検を実施	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き毎年実施	今後検討	引き続き実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
	⑤	まるごとまちごとハザードマップを整備	・市が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表	H28年度から順次実施			・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	H29年度以降検討	・ハザードマップ見直しの際に検討する。	順次実施	・市財政課・防災担当課と協議し、必要性の有無等について検討していく。	順次実施
			検討中	引き続き実施	【H30.11.21】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表(岸渡川、小矢部川、山田川、旅川) 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸渡川、子撫川、洗江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川	引き続き実施			検討中	引き続き実施 H30.4~	平成31年度にハザードマップの見直しを予定しており、対応については検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	引き続き実施
	⑥	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援	引き続き実施	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して避難訓練等を支援	引き続き実施	・自主防災組織等の結成率の向上を図る。 ・住民の防災意識を高めるため、出前講座・水防訓練を実施する。 ・自主防災組織の要となる防災士を育成する。	順次実施	・自主防災組織が行う活動に対する指導・助言や自主防災活動のリーダー育成を支援し自主防災組織の充実を図る。	順次実施	・住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士による訓練指導等の実施	順次実施	・地域の防災力向上を図るために研修会の実施や防災士による出前講座の実施	引き続き毎年実施	・平成28年3月29日に防災士の有志により「防災こころえ隊」を設立した。当隊は、自主防災組織からの派遣要請に基づき、各種訓練に参加のうえアドバイスをすることで、自主防災組織の活性化につながっている。今後も積極的に隊の活動を推進していくことで、地域の防災力向上を図る。	順次実施		
			【H28年度】自主防災組織の資機材整備や避難訓練等の支援を実施	引き続き実施	・総合防災訓練を実施の高岡市、射水市に対し、総合防災訓練への支援実施 継続して実施	引き続き実施	・水害に関する出前講座を実施(7件) ・自主防災組織等の結成率の向上 ・自主防災組織の要となる防災士を育成 ・自主防災組織結成実績1件 ・自主防災組織連絡協議会結成実績4件 ・自治会等を対象に、防災に係る出前講座を実施。(19件) (H31.2.8~R1.5.22) ・庄川左岸河川敷(高岡市出来田地先)において、水防訓練を実施 ・県西部6市と合同で、防災士育成事業を実施(R1.5.23)	引き続き実施	・県が実施する防災活動リーダー育成研修について案内し参加を促す。 ・防災活動リーダーを担う人材として防災士の育成を支援。また射水市防災士連絡協議会の活動を支援 ・【H28.8.21】備前地区で市総合防災訓練実施 ・【H30.9.2】作道地区で富山県・射水市総合防災訓練実施 ・H31.3 風水害時等の自主的な避難に関する、「市、施設管理者、住民」それぞれの役割分担やルールを明確化した「自主避難所開設・運営マニュアル」を作成	引き続き実施	防災士による避難所設置訓練を実施(3地区で実施)	引き続き実施	【H30.9.23】総合防災訓練時に消防団と一緒に実施	引き続き実施	防災講演会を実施 市総合防災訓練を実施 H30.8.26南砺市総合防災訓練	引き続き毎年実施		

2. ソフト対策の主な取組 ②迅速かつ確実な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項																	
①	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンを活用した情報発信 ・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な国・市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施 ②また、アラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供 ・河川情報システムの改良・端末向けのシステムの実施 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施	引き続き実施	・気象警報・注意報等を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知し、必要に応じて、自治体、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	順次整備	・高岡市防災情報メールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。また、エリアメール、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送を活用する。	引き続き実施	・防災行政無線を整備し屋外拡声子局を56局(親局を含む)から113局に増やし、一斉放送による音達エリアを拡充する。また、放送内容と同じものをエリアメールや登録制のメール配信、CATVのL字放送、コミュニティFMの割り込み放送で配信するシステムを整備する。	順次整備	・登録制である砺波市緊急メールについて、更なる普及のため市民に周知及び広報を行う。	順次整備	・防災・緊急メールの更なる普及に向けPRLしていく、またエリアメールCATVの文字放送を活用する。	H28年度から実施	・携帯電話及びパソコンのメールを利用した緊急メールの登録について、更なる普及を目指しPRLしていく。 ・既存の防災行政無線をデジタル化するとともに、難聴エリア解消にむけて屋外拡声子局の増設も行う。 ・新たな情報発信ツールを整備していく(防災アプリの開発)。	順次実施
		・【H28.3】よりスマートフォン向け機能を追加し、運用開始 【H29.5.22】プッシュ型による緊急速報メールの配信開始 【H29.10.12】台風21号出水に伴い緊急速報メールを配信	引き続き実施	【H28.8.1】新たな富山県総合防災システムの運用開始 【H30.2.15】河川情報システムの更新	引き続き実施	【H29.3】「はん濫」→「氾濫」へ情報文、電文の変更を実施した。 ・大雨が予想された場合、関係機関に情報伝達(ホットライン)を実施	引き続き実施	高岡市防災情報メールについて、更なる普及のため周知・広報を実施 市防災情報メールについて、市HPで周知するとともに、出前講座の際に登録を呼びかけた。情報伝達手段の整備(システムの再構築)については、現在検討中。	引き続き実施 順次	H28年9月26日から運用開始	整備済	【H29.5~】プッシュ型配信実施済	引き続き実施	Yahoo防災情報での「自治体からの緊急情報」提供開始	引き続き実施	・運用開始済	整備済
②	各関係機関が参画した「庄川・小矢部川タイムライン検討会」における急流河川の特性を踏まえた大規模水害時のタイムライン(事前防災計画)の策定と検証及び改善	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	順次実施	・作成済みタイムラインの改善を実施、洪水対応マニュアルの見直しを実施する。	引き続き実施	・新たな浸水想定に基づき、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルの見直しなど、タイムラインを意識した避難対策となるよう改善を図る。	順次整備	・防災行動計画(タイムライン)は策定済み。河川管理者及び関係機関と連携して改善等を図る。	引き続き実施	作成済みタイムラインの改善を実施する。	H28年度から実施	・防災計画のタイムライン策定期間と合わせ水防計画において策定する。	順次実施
		【H30.3.20】庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会(仮称)を開催 【H30.5.15】第2回検討会を開催 【H30.6.27】第3回検討会を開催	引き続き実施	検討中	引き続き実施	・大雨災害後、市町村と振り返りを実施 【H30.3.20】 【H30.5.15】 【H30.6.27】庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会(仮称)を開催	引き続き実施	検討中	引き続き実施 H30.4~	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	改善済	実施済	小矢部川を対象としたタイムラインを作成中	引き続き実施

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
	③想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	・小矢部川及び洪江川の洪水浸水想定区域図の策定・公表に向けての検討 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供 ・想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表	H29年度から実施	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	H29年度から順次実施													
		【H29.4.17】洪水浸水想定区域図の策定・公表 家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・提供 【H30.6】想定最大規模による氾濫シミュレーションを公表(浸水ナビ)	実施済	【H30.11.21】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表(岸渡川、小矢部川、山田川、旅川) 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸渡川、子撫川、洪江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川	引き続き実施													
	④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の情報提供を行う。	H29年度から実施	・浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	H29年度から順次実施			・家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討する。 ・避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可否について確認を行う。 ・広域避難のほかに垂直避難等柔軟な避難方法検討する。	H28年度から順次実施	・家屋倒壊区域等を踏まえ立ち退き避難が必要なエリアを検証し、現行の避難勧告等判断伝達マニュアルを見直す。	H29年度から順次実施	・浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域等により、立ち退き避難が必要な区域を検討する。	H29年度から順次実施	・最短到達時間によっては垂直避難をすることも考慮し検討	H29年度から順次実施	・浸水想定区域図等の公表を踏まえ、避難所ごとに水害時の浸水深、避難の可否、及び経路について検証していく。	H29年度から順次実施	
		【H29.4.17】浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域を公表	実施済	【H30.11.21】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表(岸渡川、小矢部川、山田川、旅川) 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸渡川、子撫川、洪江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川	引き続き実施		検討中 洪水ハザードマップの改定作業に合わせ、検討中	引き続き実施 H30.4~	指定緊急避難場所施設の想定最大規模における浸水深を検証	引き続き実施	・H31.4.25公表(広報誌、市ホームページ)	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	洪水ハザードマップに表示	H31.4		
	⑤参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	H28年度から順次実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・県西部6市と連携し、広域避難計画を検討する。	H28年度から順次実施	・参加市・町で連携し広域避難に関する検討を行う。	H28年度から順次実施	・国、県、関係市町村と連携し、計画規模洪水に対する広域避難計画を広域避難計画を検討・策定する。	平成28年度から順次実施	・県、関係市と連携し検討	H28年度から順次実施	・広域避難の現実性について、隣接市とも協議しながら検討していく。	平成28年度から順次実施	
		検討中	引き続き実施	【H30.11.21】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表(岸渡川、小矢部川、山田川、旅川) 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸渡川、子撫川、洪江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川	引き続き実施		検討中	引き続き実施 H30.4~	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討		
	⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進	H29年度から実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H29年度から順次実施			・洪水ハザードマップの見直しを行い、周知・広報を実施する。	H29年度から順次実施	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。	H29年度から順次実施	・洪水ハザードマップの見直しを行い、全戸配布により周知する。	H29年度以降順次実施	・洪水ハザードマップを更新し、全戸配布することにより周知	H29年度から順次実施	・洪水ハザードマップの見直しを検討する。	H30実施予定	
		【H30.8.28】洪水ハザードマップに関する説明会を開催	引き続き実施	【H30.11.21】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表(岸渡川、小矢部川、山田川、旅川) 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸渡川、子撫川、洪江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川	引き続き実施		・平成30年度策定予定 H30年度作成予定	引き続き実施 H30.4~	平成31年度にハザードマップの見直しを予定しており、対応については検討中	引き続き実施	・H31.4.25公表(広報誌、市ホームページ)	引き続き実施	検討中	引き続き実施	新たな洪水ハザードマップを策定(H31.4公表)	H31.4		
⑦水位予測の検討及び精度の向上	・水位予測の精度向上の検討・システム改良を行う。	引き続き実施																
	・システム改良済。引き続き精度向上について検討	引き続き実施																

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方气象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市		
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
		⑧防災気象情報の改善					・「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供 ・洪水警報の危険度分布の提供	H29年度										
							【H29.5.17】「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始した。 【H29.7.4】「危険度分布」の提供を開始した。	H29完了										
2. ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組																		
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																		
		①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県市町と共同で情報伝達訓練を実施する。	引き続き 毎年実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き 毎年実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き 毎年実施	・河川管理者と市、消防本部、消防団の連絡体制を確認し、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 ・首長が参加する本部運営訓練、市職員の参集訓練を実施する。 ・消防団への連絡体制の強化として、災害メール、携帯無線、消防団幹部への電話連絡などを実施する。	引き続き 毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き 毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者が行う水防訓練において、市長も参加する。	引き続き 毎年実施	・市防災訓練時に併せて、訓練できないか検討し、実施に向けて取組む。	引き続き 毎年実施
			【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R01.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き 毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認	引き続き 毎年実施	【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施	引き続き 毎年実施	【H29.4.27】【H30.4.25】水防連絡会に出席し確認した。 【H29.5-12】【H30.4.20】洪水対応演習に参加した。	引き続き 毎年実施	【H28.4.21】【H29.4.27】【H30.4.25】水防連絡会に出席し確認した。 【H28.5.27】【H29.5.12】【H30.4.20】【H31.4.26】洪水対応演習に参加した。	引き続き 毎年実施	今後検討	H29年度から検討	【H30.4.25】水防連絡会に出席し確認した。 【H30.4.20】洪水対応演習に参加。	引き続き 毎年実施	今後検討	H29年度から検討
		②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で行われる、重要水防箇所等の合同巡視に参加する。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を行う。	引き続き 毎年実施	・河川管理者を中心とし、自治体等が参加した重要水防箇所の点検を実施している。	引き続き 毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で合同巡視に参加する。	引き続き 毎年実施
			【H28.6.9】合同巡視を実施 【H29.6.1】合同巡視を実施 【H30.6.7】合同巡視を実施	引き続き 毎年実施	【H28.6.9】合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	【H29.5.31】【H30.6.7】合同巡視時に参加し、共同点検を実施	引き続き 毎年実施	【H29.6-1】【H30.6.7】重要水防箇所の合同点検参加	引き続き 毎年実施	【H28.6.9】【H29.6.1】【H30.6.7】合同巡視に地元住民も出席し重要水防箇所の共同点検を行った。	引き続き 毎年実施	今後検討	H29年度から検討	【H30.6.7】合同巡視時に実施	引き続き 毎年実施	今後検討	H29年度から検討
		③毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	・水防管理団が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き 毎年実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き 毎年実施	・要請による訓練への支援	引き続き 毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている実働水防訓練の内容を検討する。	引き続き 毎年実施	・出水期前にポンプ車の運転訓練を実施し、防災訓練で水防実働訓練を検討する。	引き続き 毎年実施	・関係機関が連携した水防実働訓練等の検討する。	引き続き 毎年実施	・毎年防災訓練を実施	引き続き 毎年実施	・市総合防災訓練時に、洪水を想定した連絡体制や水防訓練を実施	引き続き 毎年実施
			【H29.5.19】水防連絡会主催の水防工法研修会を実施 【H29.6.3】高岡市主催の水防訓練へ参加 【H30.5.18】水防連絡会主催で水防工法研修会を実施	引き続き 毎年実施	【H28.8.27】県総合防災訓練を実施(砺波市、小矢部市、南砺市) 【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	引き続き 毎年実施	要請のあった県、市町村の防災訓練参加	引き続き 毎年実施	【H29.5-19】水防工法訓練参加 【H29.6.3】水防訓練実施(長慶寺地先)	引き続き 毎年実施	【H28.6.10】【H29.6.20】射水市の排水ポンプ車運転講習会を行った。 【H28.9.30】【H28.10.21】【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き 毎年実施	今後検討	H29年度から検討	【H30.9.23】総合防災訓練時に水防団と一緒に実施	引き続き 毎年実施	今後検討	H29年度から検討
		④水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進							・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・広報誌やホームページで水防協力団体の募集を行う。	引き続き 毎年実施	・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き 毎年実施	・他市町村の実施状況を参考に、市防災担当課と協議しながら対応を検討する。	引き続き 毎年実施
									消防団員優遇支援事業の実施、HP、SNSを活用した広報により新入団員の加入促進を図る。	引き続き 毎年実施	ホームページ等で消防団員の募集を行っている。	引き続き 毎年実施	ホームページ等で消防団員の加入啓発を行っている。	引き続き 毎年実施	【H28.10】消防団サポート事業開始	引き続き 毎年実施	今後検討	H29年度から検討

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市				
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
5	⑤国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施		・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き毎年実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施		
			【H28.9.10,10月,11月】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加 【H29.9.10,10月】第1回～第3回水防技術基礎講座に参加 【H30.9.10,10月,11月】第4回～第6回水防技術基礎講座に参加	引き続き実施	【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	引き続き実施	【H29.5.19】水防工法訓練参加 ・【H30.10.16】【H30.11.9】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施	【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	引き続き実施				
	⑥大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施		・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H29年度から検討	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施														
			検討中	引き続き実施	【H30.11.21】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表(岸渡川、小矢部川、山田川、旅川) 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸渡川、子撫川、渋江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川	引き続き実施														
	⑦大規模水害を想定した小矢部川排水計画(案)の検討を実施		・樋門、排水路等の情報を踏まえ排水ポンプ車の適切な配置計画などを検討	H28年度から検討	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・住民の防災意識を高めるために研修会の実施や防災士による訓練指導等の実施	H29年度から検討	・排水施設等の情報を確認・共有し、排水ポンプの設置箇所の選定を行う。	H28年度から検討	・大規模水害を想定した排水計画(案)の検討を実施	H29年度から検討		
			【H30年度に排水ポンプ車の適切な配置計画及び排水シミュレーション検討を実施	引き続き実施	検討中	引き続き実施	【H29.7.31】国・県と合同で排水ポンプ車設置箇所の現地確認 H30は7月豪雨のため延期	引き続き実施	検討中	引き続き実施	今後検討	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討			
	⑧排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備		・毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。	引き続き毎年実施	・連絡体制の確認	引き続き実施			・整備済みである排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	引き続き毎年実施	・河川管理者と連携を図り、連絡体制の整備を行う。	H29年度から検討	・整備済みであり、連絡体制の確認を行う。	引き続き毎年実施	・排水ポンプ車出動要請の連絡体制等を作成する。	引き続き毎年実施		
			【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.4.27】水防連絡会にて確認 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H29.7.6】小矢部市と危険箇所の合同点検を実施 【H29.7.31】高岡市と危険箇所の合同点検を実施 【H30.2.27】水防連絡会幹事会で確認 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H31.2.12】水防連絡会幹事会で確認 【H31.4.26】洪水対応演習を実施 【R1.5.18】総合水防演習を実施 【R01.6.6】水防連絡会総会で確認	引き続き毎年実施	【H28.4.21】水防連絡会にて確認 【H28.5.27】洪水対応演習を実施 【H29.5.12】洪水対応演習を実施 【H30.4.20】洪水対応演習を実施 【H30.4.25】水防連絡会にて確認	引き続き毎年実施	【H29.5.12】【H30.4.20】 【H31.4.26】洪水対応演習にて実施	引き続き実施	【H28.4.21】【H29.4.27】 【H30.4.25】水防連絡会で連絡体制の整備、情報の共有が行われた。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	【H30.4】確認済	引き続き毎年実施	今後検討	H29年度から検討				
			・実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	・水防訓練と合同で実施する。 ・河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加する。	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う操作訓練に参加	順次実施
	⑨関係機関が連携した排水実働訓練の実施		【H29.4.21】定期訓練の実施 【H29.5.29】実働訓練の実施 【H29.6.3】高岡市主催の水防訓練へ参加 【H30.4.26】定期訓練の実施 【H30.5.24】実働訓練の実施	引き続き実施	【H28年度】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加	引き続き実施	【H29.6.3】水防訓練実施(長慶寺地先)	引き続き実施	【H28.9.30】【H28.10.21】 【H29.9.29】【H29.10.13】北陸地方整備局の水防技術講習会に参加した。	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討	検討中	引き続き実施	今後検討	H29年度から検討				
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																				
①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施		・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援	引き続き実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・家屋倒壊危険区域内の要配慮者施設へさらなる情報伝達ツールを検討する。	H28年度から順次実施	・要配慮者施設における計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H29年度から順次実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。	H28年度から順次実施	・浸水想定区域図等の公表を反映させたハザードマップ等を関係各施設に配布する。	H30実施予定			
		検討中	引き続き実施	【H29.2.22】要配慮者利用施設管理者説明会の市町村への事前説明会の実施 【H29.4.9～11】要配慮者利用施設への説明会の実施予定 【H30.5.16】施設管理者向け説明会で説明(南砺市)	引き続き実施	【H29.2～H29.4】要配慮者利用施設管理者への資料作成し、管理者に説明した。	引き続き実施	施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼した。順次、関係施設に対して説明を行う予定。 対象となる施設の管理者へ、計画策定についての資料提供及び説明会を実施した。	引き続き実施 H30.4～6	【H30.2.9】対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体制を確認した。 【H30.2.15】対象施設に避難確保計画策定等が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開始	引き続き実施	対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定について説明会を開催 対象施設すべて計画策定済み	H30年5月	避難計画の有無を継続的に確認。	引き続き実施	・施設管理者向け説明会を開催 H30.5.16 説明会 更新前のハザードマップでの対象施設すべて計画策定済 ハザードマップの更新により追加対象となった22施設に対し H31.5.27説明会を実施した	引き続き実施			

減災のための取組項目 (概ね5年間)		北陸地整		富山県		富山地方気象台		高岡市		射水市		砺波市		小矢部市		南砺市	
項目	事項	内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
		②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う。	引き続き実施	・作成に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	H28年度から順次実施			・ハザードマップを活用し、大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から実施			・大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動を行う。	H29年度から順次実施			
			検討中	引き続き実施	【H30.11.21】想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表(岸渡川、小矢部川、山田川、旅川) 【H30.8.17】小矢部川、山田川、旅川 【H30.11.21】岸渡川、子撫川、洗江川、横江宮川 【H31.3.29】千保川	引き続き実施			検討中 洪水ハザードマップの改定作業に合わせ、検討中	引き続き実施 H30.4~			今後検討	H29年度から検討			

(様式2-取組概要)

北陸地整

カテゴリ	洪水氾濫を未然に防ぐための対策(洪水を安全に流すためのハード対策)
内容	流下能力対策、侵食・洗掘対策、浸透・パイピング対策
実施主体	富山河川国道事務所

常願寺川、神通川、庄川、小矢部川において、浸透・侵食に対する安全性や流下能力を向上させる「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」を推進している。

- 平成31年3月時点整備延長 (対策不要区間含む)
 - ①常願寺川 1.2km
 - ②神通川 6.8km
 - ③庄川 2.8km
 - ④小矢部川 2.0km



(着手前)

(完成)

小矢部市西中野地先 浸透対策(小矢部川)

(様式2-取組概要)

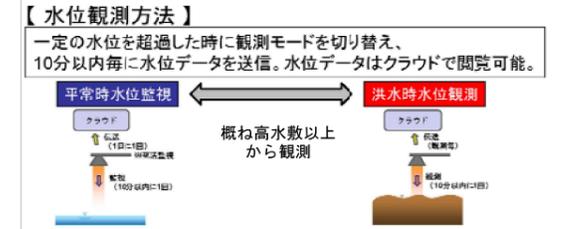
北陸地整

カテゴリ	円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置
内容	危機管理型水位計の整備
実施主体	富山河川国道事務所

洪水時の水位観測に特化した低コストの水位計を開発することで、これまで水位計の無かった河川や地先レベルでのきめ細やかな水位把握が必要な河川への水位計の普及を促進し、水位観測網の充実を図ることを目的に平成30年度より富山河川国道事務所管内において、危機管理型水位計を整備済み。

- 各河川の整備箇所数は、
- 常願寺川 6箇所
 - 神通川 6箇所
 - 井田川 5箇所
 - 熊野川 2箇所
 - 庄川 5箇所
 - 小矢部川 9箇所

水位データは「川の水位情報(危機管理型水位計)」で表示済。



【整備状況】



常願寺川 (左岸 12.8k付近)

神通川 (右岸 8.8k付近)

庄川 (右岸 6.6k付近)

小矢部川 (左岸 24.4k付近)

(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方气象台・富山市・高岡市・射水市・砺波市・小矢部市

カテゴリ	小中学校等における水災害教育を実施 ～ 防災・河川環境教育の充実に係る取組 ～
内容	教育委員会等と連携・協力して支援校を決定し、出前講座等により防災教育を支援
実施主体	減災対策協議会の事務局および構成市町村

「命を守る」という観点に留意し、支援校で水防災に係る出前講座、避難訓練等を実施した。

- 平成30年 7月12日 砺波市立庄南小学校 全学年 避難訓練等
- 平成30年 7月19日 高岡市立万葉小学校 5年生 出前講座
- 平成30年 9月21日 富山市立新庄小学校 5年生 出前講座
- 平成30年 9月28日 射水市立大門小学校 4年生、5年生 防災授業
- 平成30年 10月16日 小矢部市立東部小学校 5年生、6年生 出前講座

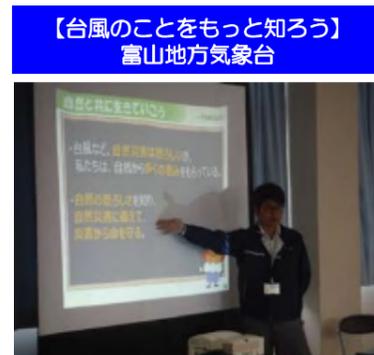
【富山市立新庄小学校実施状況】



過去に常願寺川で発生した水害や「いのち」を守るための避難行動について学びました。



ハザードマップを配布し、避難場所とルートの確認、非常時の持ち出し品について学習しました。



台風の進路や最新の気象情報、台風は恐ろしいことばかりではなく、水不足の解消などメリットについて一緒に考えました。

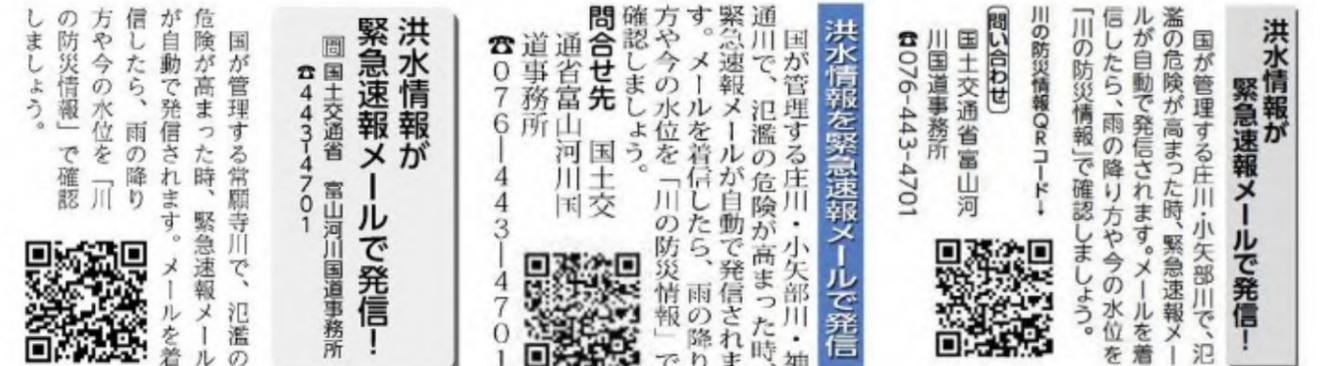
(様式2-取組概要)

北陸地整・市町村

カテゴリ	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
内容	広報誌掲載による関係住民への周知
実施主体	富山河川国道事務所、富山市、立山町、舟橋村、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市

平成29年5月より配信が開始された緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信について、配信地域の住民への周知を目的に、各自治体の広報誌への掲載により関係住民への周知を実施した。

【掲載例】



舟橋村

射水市

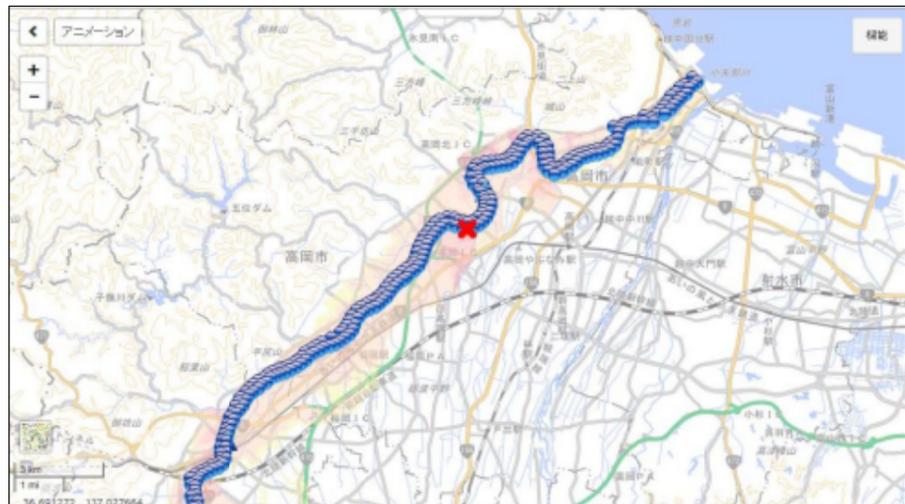
南砺市

(様式2-取組概要)

北陸地整

カテゴリ	想定最大規模も含めた決壊地点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 (浸水ナビ等による公表)
内容	想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションの公表
実施主体	富山河川国道事務所

浸水想定区域図を電子地図上に表示するシステム（浸水ナビ）の「地点別浸水シミュレーション検索システム」において、平成30年6月より常願寺川、神通川、西派川、井田川、熊野川、庄川、小矢部川、洪江川の想定最大規模降雨の氾濫シミュレーションを公表。



小矢部川の表示例（浸水ナビ）

(様式2-取組概要)

北陸地整

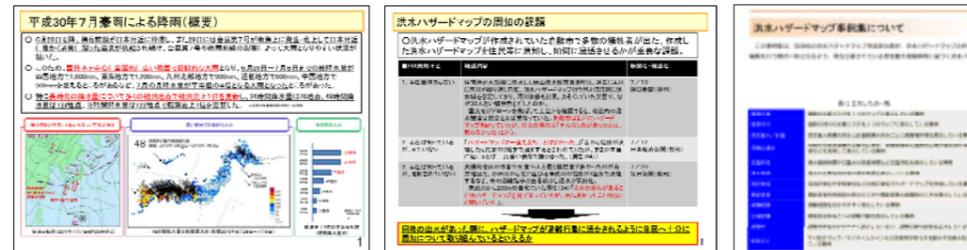
カテゴリ	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
内容	洪水ハザードマップに関する説明会の開催
実施主体	富山河川国道事務所

平成30年7月豪雨により、中国および四国地方で甚大な被害が発生したことから、住民等に洪水ハザードマップを周知していただくため、市町村の職員を対象に今般の水害の被害状況を説明するとともに洪水ハザードマップに関する意見交換の実施した。

【詳細】

- 日時：平成30年 8月28日（火） 10:00～11:30
- 場所：富山河川国道事務所 大会議室
- 内容：
 - (1) 洪水ハザードマップに関する説明
 - 平成30年7月豪雨について
 - 洪水ハザードマップの周知について
 - (2) 洪水ハザードマップの周知の取組について
 - (3) 意見交換
- 参加機関：12機関

○説明資料



(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリ	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
内容	重要水防箇所等の共同点検を実施
実施主体	富山河川国道事務所水防連絡会

常願寺川、神通川、庄川及び小矢部川において、関係水防機関や電力・鉄道会社、災害協定業者、地元住民の方々と合同で、洪水時に危険となる箇所や緊急資材倉庫の備蓄状況の確認を行い、水防活動に万全を期することを目的に行っている。

【詳細】

- 日時：平成30年 6月 6日（水） 9:00～11:30 常願寺川
13:00～16:00 神通川
平成30年 6月 7日（木） 9:00～11:40 庄川
13:00～16:35 小矢部川
- 内容：重要水防箇所や緊急資材倉庫など4河川で計25箇所の巡視を実施
- 参加人数：常願寺川39名、神通川37名、庄川57名 小矢部川53名



常願寺川
(富山市本郷島地先)



神通川
(富山市八尾町石戸地先)



庄川
(庄川緊急資材倉庫)



小矢部川
(小矢部市矢水町地先)

(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリ	水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備
内容	洪水対応演習の実施
実施主体	富山河川国道事務所水防連絡会

出水時における県・関係市町村を含めた水防機関等への情報伝達及び洪水予報、水防警報等の文書作成等を行い、洪水時の緊急かつ適切な対応に資することを目的として次のとおり情報伝達演習を実施している。

【詳細】

- 日時：平成31年4月26日（金）
- 内容：
 - ① 出水時における洪水予測の実施
 - ② 水防関係機関への水防警報・洪水予報等の情報伝達
 - ③ 水門等の操作ルール、操作状況の確認及び情報伝達
 - ④ 河川工事現場関係者への情報伝達及び被害軽減を図る措置の検討
 - ⑤ 市町村とのホットライン（電話）による情報共有
- 対象河川：水防法に基づく水防警報対象河川（常願寺川、神通川、庄川、小矢部川）

平成31年度
実施状況



(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリ	水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備
内容	庄川・小矢部川総合水防演習の実施
実施主体	高岡市、富山県、国土交通省 北陸地方整備局、富山河川国道事務所水防連絡会

庄川・小矢部川流域の水防技術の向上・伝承及び水防団の士気高揚を図るとともに、幅広い主体の参加による地域社会全体の防災知識の普及及び防災意識の向上、実践的なシナリオによる災害対処能力の更なる向上を図ることを目的とし、実践的な演習を実施しました。

【詳細】

- ・日時：令和元年5月18日(土) 8:00~11:20
- ・参加者：田中国土交通大臣政務官、石井富山県知事、高橋高岡市長はじめとする約2,300人(来賓及び一般見学者含む)
- ・内容：①水防工法 ②要配慮者避難訓練 ③緊急排水活動訓練 ④ヘリ救助訓練 ⑤浸水防止対策(土のう積み) ⑥タイムラインに基づく実践的な訓練 ⑦住民避難及び救難・救助訓練 ⑧情報発信及び展示体験

平成31年度
実施状況



(様式2-取組概要)

北陸地整・富山県・市町村

カテゴリ	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施
内容	水防技術講習会に参加
実施主体	国土交通省北陸地方整備局

水防技術に関する専門技術の習得と組織の中核となって習得した技術を普及する職員の育成を目的に“水防技術基礎講座(第4回~第6回)”に参加した。

【詳細】

※カリキュラムは2年間で6講座

- ・開催日：(第4回)平成30年9月12日(水)、(第5回)平成30年10月16日(火)、(第6回)平成30年11月9日(金)
- ・場所：福岡防災センター及び小矢部川左岸19.6km付近
- ・内容：①縄結び ②月の輪工 ③シート張工 ④積み土のう工 ⑤木流し工 等
- ・参加機関：北陸地整、富山県、高岡市、砺波市、小矢部市 等
- ・6講座を受講された人は「水防技術伝え人」に登録



シート張工



積み土のう工



「水防技術伝え人」登録

(様式2-取組概要)

北陸地整・市町村

カテゴリ	毎年、関係機関が連携した水防実施訓練等を実施
内容	川倉工、シート張り工、積み土のう工の水防工法を実施
実施主体	富山河川国道事務所水防連絡会

富山河川国道事務所と水防連絡会を構成する自治体の消防署等が参加し、水防団員への指導等を目的に、川倉工等の水防工法の訓練を行っている。

【詳細】

- ・日時：平成30年5月18日(金) 9:30~12:00
- ・場所：富山市水橋入江地先富山防災センター前(常盤橋下流常願寺川右岸堤防付近)
- ・参加者：管内沿川7自治体、富山河川国道事務所、防災エキスパート(講師)等
- ・内容：①川倉工 ②シート張り工 ③積み土のう工



川倉工



シート張り工



積み土のう工

(様式2-取組概要)

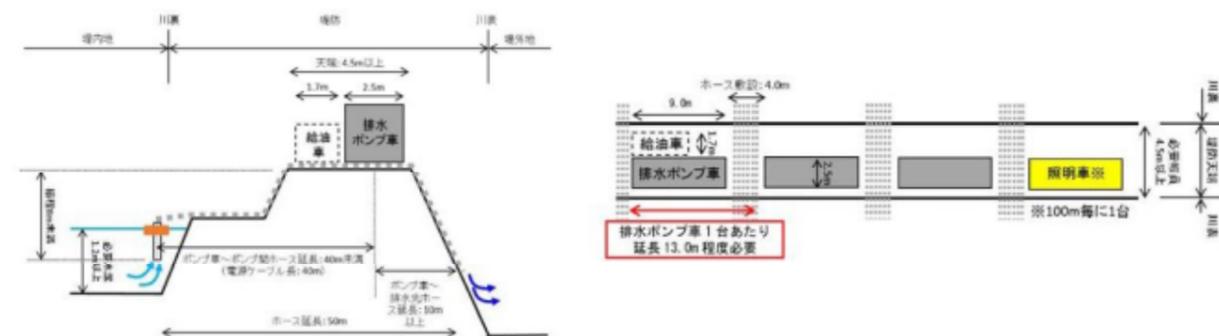
北陸地整

カテゴリ	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報提供、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成
内容	排水ポンプ車の適切な配置計画などを定める排水作業準備計画を検討
実施主体	富山河川国道事務所

想定最大規模を対象とし、大規模氾濫減災協議会の取組方針並びに緊急行動計画に基づき、長期間にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水計画を作成に係る、排水作業の準備計画に関する検討を進めている。

【詳細】

- ・実施河川：小矢部川
- ・検討内容：想定破堤点破堤時における河道水位・浸水状況変化の把握
排水シミュレーション結果を踏まえた排水手順・配置計画の検討



排水ポンプ車配置イメージ図

(様式2-取組概要)

北陸地整・富山地方気象台・富山県・市町村

カテゴリ	各関係機関が参画した「庄川・小矢部川タイムライン検討会」における急流河川の特徴を踏まえた大規模水害時のタイムライン(事前防災計画)の策定と検証及び改善
内容	各関係機関が参画した庄川・小矢部川タイムラインの策定
実施主体	富山河川国道事務所、富山県、富山地方気象台、富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市 他

庄川・小矢部川タイムライン検討専門部会を開催し、検討に着手している。

【詳細】

- ・日時：第2回 平成30年 5月15日(火) 14:00~16:00 福岡防災センター2F会議室
第3回 平成30年 6月27日(水) 13:00~17:00 福岡防災センター2F会議室
- ・参加者：富山河川国道事務所、富山県、富山地方気象台、富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市ほか、計27機関が参加
- ・内容：①タイムライン検討に向けた防災行動の検討
②タイムライン素案の防災行動の検討
③計画規模及び想定最大規模タイムライン(案)の意見照会 ほか



第2回



第3回



第3回

(様式2-取組概要)

北陸地整

カテゴリ	関係機関が連携した排水実動訓練の実施
内容	排水ポンプ車設置訓練
実施主体	富山河川国道事務所

災害時に、自治体や他の地方整備局への迅速な支援を行うため、機器取扱の習熟、定期的な点検、施設管理者との連携強化等を目的として実施した。

【詳細】

- 事務所所有の排水ポンプ車、照明車を使って定期訓練の実施
 - ・実施日：平成30年4月26日(木)
 - ・場所：富山防災センター
 - ・機器：排水ポンプ車3台、照明車3台
- 本格的な出水期前の災害に備え、実際の実働を想定した現地での内水排除実働訓練の実施
 - ・実施日：平成30年5月24日(木)
 - ・場所：小矢部川水系千保川(四谷川樋門付近)
 - ・機器：排水ポンプ車2台、照明車2台



富山防災センターの訓練



小矢部川水系千保川の内水排除訓練



(様式2-取組概要)

富山県

カテゴリ	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
内容	河川施設点検の実施
実施主体	富山県、富山市、滑川市、上市町、立山町

沿川市町と共同で重要水防箇所等の点検を行った。

【実施概要】

- ・日時：平成30年5月24日
- ・参加者：富山県河川課、富山県立山土木事務所、富山市、滑川市、上市町、立山町
- ・内容：①河川管理施設の点検
②重要水防箇所の周知
③水防備蓄資材の点検



河川管理施設の点検



重要水防箇所の周知



水防備蓄資材の点検

(様式2-取組概要)

富山県

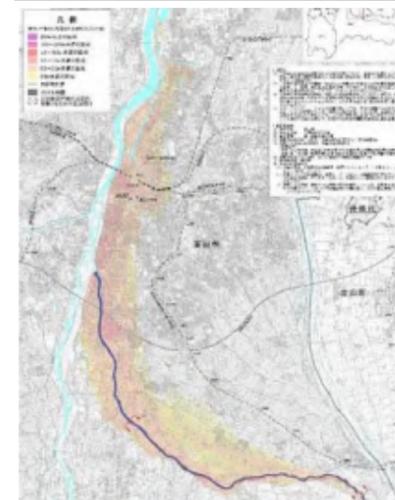
カテゴリ	想定最大規模降雨による浸水想定区域図等の作成・公表
内容	想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域図等の公表
実施主体	富山県

県管理河川(水位周知河川)において、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図等を公表した。

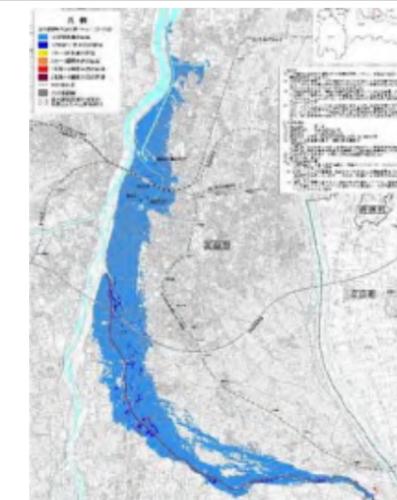
【公表状況】 12河川 (H31.2.12現在)

(参考)県内全体では13河川

- ・神通川水系いたち川、土川、熊野川、坪野川、山田川(婦負)
- ・小矢部川水系小矢部川(県管理区間)、旅川、山田川(砺波)、岸渡川、横江宮川、渋江川、子撫川



洪水浸水想定区域図(熊野川)



浸水継続時間(熊野川)



富山県HPで公表

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1503/kj00009527.html

(様式2-取組概要)

富山県

カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内容	河川監視カメラの設置及び画像情報の一般公開
実施主体	富山県

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難勧告等の判断を支援するため、県管理の水位周知河川の水位観測所等24箇所(H31.2.12時点)において、河川監視カメラを設置し、カメラ画像をインターネットを通じて一般公開した。

(参考)県内全体では47箇所

【実施概要】

- ・公開開始日：平成30年6月1日
- ・公開の方法：画像情報（静止画：10分更新）と水位情報をホームページで提供
- ・公開HP：「川の水位情報」(https://k.river.go.jp)
「富山県河川・海岸カメラ」(http://kawa.pref.toyama.jp/camera)



河川監視カメラ設置状況



外部公開サイト(富山県河川・海岸カメラ)

河川監視カメラ画像

(様式2-取組概要)

富山県

カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内容	危機管理型水位計の設置
実施主体	富山県

中小河川の水位を把握し、住民の避難判断に役立てるため、危機管理型水位計を県管理河川に設置した。

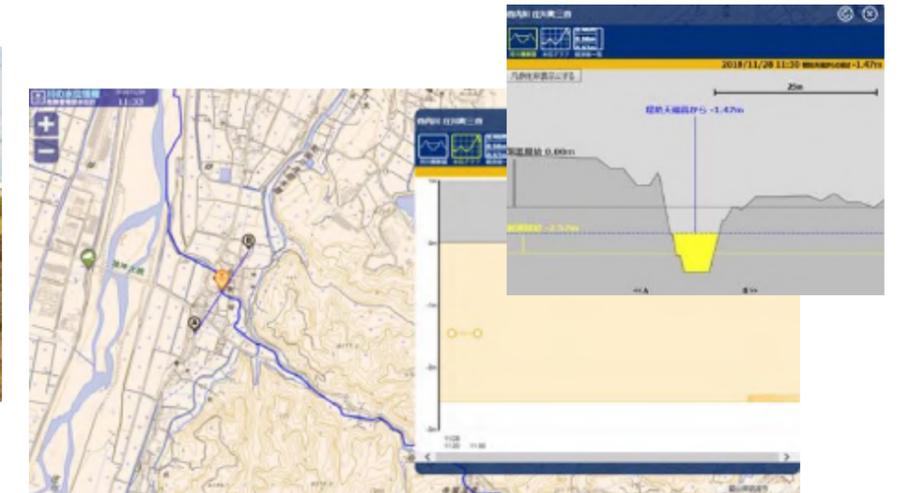
【実施概要】

- ・設置箇所：庄川水系谷内川など21箇所(H31.2.12時点)
- ・公開開始日：平成31年出水期前
- ・公開の方法：「川の水位情報」(https://k.river.go.jp)

(参考)県内全体では84箇所



危機管理型水位計設置状況(野川)



危機管理型水位計の公開サイト(「川の水位情報」)

(様式2-取組概要)

富山地方気象台

カテゴリ	小中学校等における水災害教育を実施 出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内容	出前講座等の活用
実施主体	富山地方気象台

小中学校や住民の方々には水防災に係る出前講座、講習会を開催した。

- ・平成30年5月22日 伏木防火協会
- ・平成30年7月10日 高岡市立牧野小学校
- ・平成30年8月26日 立山町消防本部研修会
- ・平成30年9月21日 富山市新庄小学校(富山河川国道事務所と富山市とで実施)
- ・平成30年10月10日 富山市新庄北小学校



小学校での出前講座の様子



出前講座内での「警報・注意報のタイムテーブル」「警報級の可能性」の紹介例



出前講座内での「危険度分布」の紹介例

(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリ	平成30年度富山市水防訓練
内容	川倉工・シート張工等の水防工法、人命救助訓練、住民広報訓練等を実施
実施主体	富山市

地域住民の生命、身体、財産を水害から守るため、関係機関相互の協力体制強化と水防工法技術等の錬磨を図ることを目的に、水防訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・日時：平成30年5月26日(土) 8:00~9:00
- ・参加者：富山市、富山市消防局、富山河川国道事務所、富山土木センター、自主防災組織等
- ・内容：① 水防工法
② 人命救助訓練(孤立者救助)
③ 自主防災組織による改良積み土のう工法
④ 排水ポンプ車による内水排除訓練
⑤ 住民広報訓練
⑥ 災害対策車両等展示
⑦ 非常食配給



川倉工法



築廻し工法



人命救助訓練

(様式2-取組概要)

富山市

カテゴリ	富山市排水ポンプ車運転作業訓練を実施
内容	富山市が所有する排水ポンプ車の作業手順等を確認
実施主体	富山市

富山市が所有する排水ポンプ車の迅速かつ適正な運用を図るため、排水業務委託先の排水ポンプ車の実働経験が少ない作業従事者を対象に、作業手順を確認する実働訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成30年7月25日(水) 14:30～15:30
- ・参加者：富山市、富山市建設業協会 会員39社68名
- ・内 容：①排水ポンプ車設置場所等の講習
②排水ポンプ車運転作業手順の確認
③排水ポンプ車の試運転



設置場所等講習の様子



排水ポンプとホース・フロート取り付けの様子



排水ポンプ車の試運転

(様式2-取組概要)

射水市

カテゴリ	要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組
内容	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
実施主体	射水市

- ・対象となる施設を所管する担当部署へ計画策定の必要性について説明し、各施設への働きかけを依頼。庁内の推進体制を確認した。
- ・対象施設に避難確保計画策定等が義務化されたことを順次通知し、計画作成に必要な知識等についての資料提供を開始

【実施概要】

- H29. 8. 25 地域防災計画に位置付ける要配慮者利用施設を見直し（市防災会議）
- H30. 2. 9 避難確保計画作成等推進に関する関係課会議開催
- H30. 2. 15 対象施設への避難確保計画策定等義務化通知及び資料提供を開始

＜施設への主な提供資料＞

- ・事業所がある場所の河川氾濫時における浸水深の想定
- ・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成の手引き別冊（作成支援編・様式編）
- ・市の洪水害における避難勧告等の主な判断基準
- ・避難確保計画様式（射水市版作成例）
- ・緊急避難場所一覧
- ・市HP防災コーナーに「要配慮者利用施設避難確保計画作成支援」の項目を新設

※対象施設 119 施設のうち 55 施設が計画作成完了（平成31年1月末現在）

(様式2-取組概要)

射水市

カテゴリ	毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
内容	県総合防災訓練の実施
実施主体	富山県、射水市

・富山県と射水市が合同で、地震と集中豪雨による被害を想定した実践的な訓練を行った。

【詳細】

- ・日 時：平成30年9月2日
- ・参加者：国土交通省富山河川国道事務所、気象庁、陸上自衛隊、富山県、射水警察署、射水市、関係機関、作道地区住民、等
- ・内 容：①情報伝達・収集訓練
②住民の避難、要配慮者の安否確認
③土のう使用等の体験訓練
④緊急支援物資受入・搬送訓練等の関係機関の訓練
⑤電気、ガスの復旧活動



(様式2-取組概要)

高岡市

カテゴリ	毎年度、関係機関が連携した水防訓練を実施
内容	川倉工、月輪工、シート張工等の水防工法を実施
実施主体	高岡市消防本部、高岡市総務部、高岡市都市創造部

水防関係機関の士気高揚と水防技術の向上、相互の協力体制の強化を図るとともに地域社会に対する水防意識の啓発を目的とし、水防訓練を実施しました。

【実施概要】

- ・日 時：平成30年6月2日(土) 8時30分～9時30分
- ・参加者：高岡市関係機関(消防本部、総務部、都市創造部)、富山河川国道事務所、富山県高岡警察署、陸上自衛隊富山駐屯地382施設中隊、野村地区各自主防災会・自治会 等
- ・内 容：①川倉工
②月輪工
③シート張工 等



川倉工



月輪工



シート張工

(様式2-取組概要)

砺波市

カテゴリ	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内容	堤防決壊を想定した避難所における垂直避難訓練の実施
実施主体	砺波市

早期避難した避難所において堤防決壊による浸水を想定（想定最大規模）した「垂直避難訓練」を行った。

【実施概要】

- ・日時：平成30年9月2日（日）9：00～11：00
- ・参加者：中野地区住民
- ・内容：小学校体育館（1階）から校舎2階への「垂直避難訓練」



垂直避難訓練の様子

(様式2-取組概要)

小矢部市

カテゴリ	毎年、関係機関が連携した水防実施訓練等を実施
内容	防災思想の普及啓発を図る防災訓練
実施主体	小矢部市

小矢部市内2地区（石動南部地区、宮島地区）において、避難所が開設された場合を想定し、関係機関と連携して総合防災訓練を実施しました。

【詳細】

- ・日時：平成30年9月23日（日曜日）午前8：00～10：00
- ・参加者：地域住民（石動南部地区、宮島地区）、消防団、消防署、市
- ・内容：①住民避難活動・誘導訓練
②倒壊家屋救出訓練
③避難所運営訓練（応急救護・炊き出しなど）



倒壊家屋救出訓練



避難所運営訓練（応急救護）



避難所運営訓練（炊き出し）

(様式3-新たな課題や取組)

◆自由意見(取組を進める中での課題や取組の提案など)

(高岡市)

・富山地方气象台、ダム管理者、河川管理者、水防管理者等での、洪水対応実働体制の強化(情報伝達訓練)(提案)

平成30年8月16日豪雨による坪野川における対応【富山県:富山土木センター】

○平成30年8月16日豪雨による急激な水位上昇について、河川管理者である富山県から富山市にホットラインで直接情報を提供。

良かった点や課題

《良かった点》

○避難判断を担う富山市に直接電話で水位情報を提供できた。

《課題》

○坪野川は、当該区間の河道断面積が狭く、水位が急激に上昇することから、水防団待機水位【1.5m】から氾濫危険水位【2.0m】に到達する時間が非常に短い。

＜8月16日の水位経過＞

1.03m(15:00)→1.87m(15:10)→2.15m(15:20)→2.19m(15:30)【最大水位】 ホットライン実施(15:26)

○今回は、最大水位から1時間程度で水防団待機水位を下回ったため、住民への避難勧告等はされなかったが、このような河川での避難判断は非常に難しいと思われる。

上記に対する対応策等

○過去の実績等から水位が急激に上昇すると考えられる河川については、雨雲の動きや水位の情報を早い段階で把握し、速やかに情報提供できるように準備する。

○ホットラインとともに気象庁が提供している雨雲の動き等も補足情報として市に提供し、避難判断の支援とする。

平成30年7月豪雨による出水を踏まえた庄川における対応【高岡市】

良かった点や課題

《良かった点》

○降雨量と水位情報等を基に、はん濫注意水に達する前に体制をとり、庄川の沿川地区自治会に早めの避難行動を呼びかけることができた。

《課題》

○すべての指定緊急避難場所の管理者や住民(各自治会長)への情報伝達がうまくいかなかった(電話が繋がらなかった)。

上記に対する対応策等

○高岡市情報伝達システムの再構築を図る(現在検討中)。

○関係機関(ダム管理者、河川管理者等)との実働体制の確認、強化を図る。

○住民に対し、プル型での情報収集方法や自助・共助による避難行動等について周知を図る。

平成30年大雨警報時における冠水を踏まえた市道の対応について【小矢部市】

○平成30年夏期の大雨による冠水時の対応について、水防管理者(小矢部市)による振り返りを行い、課題および対応策等について検討。

良かった点や課題

《良かった点》

平成29年7月の水防警報発令事例では、水防管理者の課員間での情報伝達が完全でなく、待機員に欠員が生じた。この反省から、平成30年度は課員間での連絡先や手順を明確化し、平時から情報伝達を演習し、平成30年夏期の大雨警報時に欠員ゼロを達成した。

《課題》

用水路の水門管理は管理者に一任しているが、管理者と連絡がつかない場合の対応等について明確な基準がないこと。

上記に対する対応策等

小矢部川水防警報発令時の対応フローを作成し、警報レベル毎の作業内容を明確にした。また、用水管理者と連絡がつかない場合を想定した水門操作マニュアルを作成し、開閉作業を直接行える体制を構築した。